

資料編Ⅲ 市民アンケート調査

Ⅲ－１ 調査の概要

（１）調査対象と調査期間

- ・市民の中から世帯主2,000人を実無作為抽出しました。
- ・平成26年5月22日（木）から平成26年6月5日（木）までの15日間

（２）調査票の配布・回収状況

- ・配布数2,000票、回収数868票、回収率：43.4%

地域別配布・回収状況

地域名	配布数 (件)	回答数	回収率
長浜地域	1,082	446	41.2%
浅井地域	201	89	44.3%
びわ地域	93	57	61.3%
虎姫地域	100	37	37.0%
湖北地域	126	68	54.0%
高月地域	153	60	39.2%
木之本地域	134	48	35.8%
余呉地域	49	24	49.0%
西浅井地域	62	35	56.5%
地域不明		4	
合 計	2,000	868	43.4%

住宅や住環境に関する市民アンケート調査 ～長浜市住生活基本計画の策定のために～



＜アンケートご協力のお願い＞

市民の皆様には、日ごろから市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。

長浜市では、これからの住宅・住環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画として「長浜市住生活基本計画」を策定します。

そこで、長浜市にお住まいの皆様のご意見を本計画に反映するために、本アンケート調査を行います。

本アンケート調査は、長浜市にお住まいの20歳から80歳までの世帯主の方の中から2,000名の方を無作為に抽出し、調査票を送付しております。

アンケート調査結果は、統計的に処理し、「長浜市住生活基本計画」策定の際の基礎的資料として活用し、他の目的には一切使用しませんので、お考えのままご記入ください。

お忙しいところ誠にありがとうございます。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

なお、本アンケート調査結果を反映した「長浜市住生活基本計画」は、策定後、長浜市のホームページなどで公表する予定をしております。

平成26年5月 長浜市長 藤井勇治

【ご記入にあたっての注意事項】

1. **世帯主（封筒の宛名）の方が調査対象者です。必ず世帯主がご記入くださいますようお願いいたします。**ただし、世帯主が記入できない場合は、ご家族の方などが世帯主の立場でご記入いただいても結構です。
2. この調査は無記名調査のため、**お名前・ご住所を記入いただく必要はありません。**また、記入された内容は統計的に処理いたしますので、内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることは決してありません。
3. お答えは、アンケート調査用紙に直接ご記入ください。各設問の選択肢の番号に指定の数以内で○を囲んでください。なお、（ ）内の箇所には設問に応じてご記入ください。
4. ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**6月5日（木曜日）までにご投函くださいますよう、**お願いいたします。

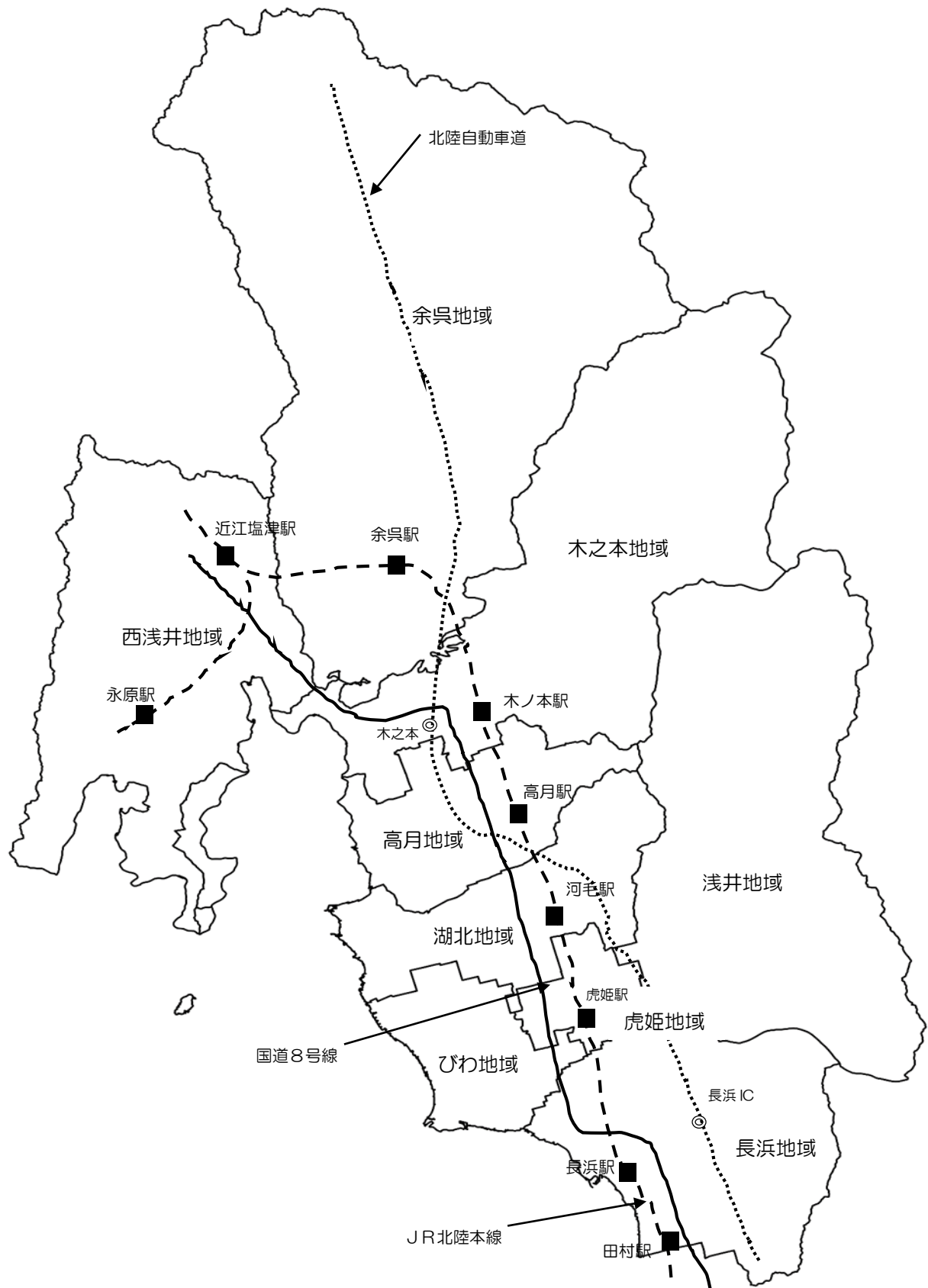
※ 本アンケートに関するご質問等は、下記までお問い合わせください。

長浜市役所 都市建設部 建築住宅課 すまい政策推進室

TEL 0749-65-6533 FAX 0749-65-6760

E-mail kenchiku@city.nagahama.lg.jp

長浜市 地域図



住宅や住環境に関する市民アンケート調査

■あなた（世帯主）やご家族について

【問１】世帯主の年齢（年代）をお聞きします。〔〇は１つ〕

- 1 20 歳代 2 30 歳代 3 40 歳代
4 50 歳代 5 60 歳代 6 70 歳以上

【問２】あなたと同居されているご家族の形態と構成をお聞きします。

①ご家族の形態はどれですか。〔〇は１つ〕

- 1 単身（ひとり暮らし） 2 夫婦のみ 3 親子（２世代）
4 親・子・孫（３世代） 5 その他（ ）

②ご家族の構成について、世帯全員の年齢（年代）と人数をお聞きします。

	0～5 歳	6～12 歳	13～18 歳	19～29 歳	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上	合計
男性	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
女性	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

【問３】あなたは長浜市にどのくらいお住まいですか。〔〇は１つ〕

- 1 1 年未満 2 1～10 年未満 3 10～20 年未満
4 20～30 年未満 5 30 年以上 6 わからない

【問４】あなたのお住まいの地域はどこですか。（長浜市地域図参照）〔〇は１つ〕

- 1 長浜地域 2 浅井地域 3 びわ地域 4 虎姫地域 5 湖北地域
6 高月地域 7 木之本地域 8 余呉地域 9 西浅井地域

【問５】地域コミュニティへの参加についてお聞きします。

①自治会活動など地域の行事にどのくらい参加していますか。〔〇は１つ〕

- 1 積極的に参加している 2 おおむね参加している
3 時々参加している 4 参加していない
5 自治会がない（存在を知らない）

②隣近所の方とどのくらい交流されていますか。〔〇は１つ〕

- 1 お互い助け合ってかなり親しくしている 2 家を訪ねたりして親しくしている
3 立ち話をする程度である 4 あいさつをする程度である
5 交流はほとんどない 6 誰が住んでいるのか知らない
7 その他（ ）

【問6】なぜ今、長浜市に住んでいますか。[○は2つまで]

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 生まれたときから住んでいるため | 2 親または子と同居するため |
| 3 家を相続したため | 4 土地を相続し、家を新築したため |
| 5 就職・転職・転勤のため | 6 手ごろな不動産を見つけたため |
| 7 今の住宅の設備や性能に満足しているため | 8 その他 () |

【問7】長浜市に住んでいて感じるまちの魅力は何ですか。[○は3つまで]

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1 住民自治がしっかりしているところ | 2 人権を尊重しているところ |
| 3 学びの環境が充実しているところ | 4 医療や福祉が充実しているところ |
| 5 防災・防犯がしっかりしているところ | 6 子育て環境が整っているところ |
| 7 自然環境が豊かなところ | 8 環境対策がしっかりしているところ |
| 9 歴史や文化が地域に根づいているところ | 10 経済基盤がしっかりしているところ |
| 11 まちの基盤や仕組みがしっかりしているところ | |

■住宅について

【問8】現在どのような住宅にお住まいですか。[○は1つ]

- | | | |
|---------------|----------------|---------------|
| 1 持家（一戸建） | 2 持家（マンション） | 3 持家（長屋） |
| 4 民間賃貸住宅（一戸建） | 5 民間賃貸住宅（アパート） | 6 公営住宅（市営・県営） |
| 7 公社・公団住宅（賃貸） | 8 社宅・官舎・寮 | 9 その他 () |

【問9】お住まいの住宅の建築時期はいつ頃ですか。[○は1つ]

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1 昭和 35 年以前 | 2 昭和 36～45 年 | 3 昭和 46～55 年 |
| 4 昭和 56～平成 2 年 | 5 平成 3～12 年 | 6 平成 13 年以降 |
| 7 わからない | | |

【問10】お住まいの住宅の延べ床面積をお聞きします。[○は1つ]

- | | |
|--|--|
| 1 30 m ² 未満（約 9 坪未満） | 2 30～50 m ² 未満（約 9～15 坪） |
| 3 50～70 m ² 未満（約 15～21 坪） | 4 70～90 m ² 未満（約 21～27 坪） |
| 5 90～120 m ² 未満（約 27～36 坪） | 6 120～150 m ² 未満（約 36～45 坪） |
| 7 150～200 m ² 未満（約 45～60 坪） | 8 200 m ² 以上（約 60 坪以上） |
| 9 わからない | |

【問11】問8で持家（1、2、3）を選んだ方にお聞きします。

①現在または今後5年以内において増改築や建て替えの計画はありますか。[○は1つ]

- | |
|-----------------------|
| 1 増改築をおこなう |
| 2 建て替えをおこなう |
| 3 親または子どもの住宅の敷地内に新築する |
| 4 検討中である |
| 5 計画はない |
| 6 その他 () |

②①で1を選んだ方にお聞きします。増改築の内容はどんなものをお考えですか。

[○は3つまで]

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 床面積を増やすなど間取りを変更する | 2 収納スペースを増やす |
| 3 台所、便所、浴室などの設備を改善する | 4 段差解消などのバリアフリー化 |
| 5 内装の模様替え | 6 屋根、外壁の改善 |
| 7 断熱工事、防音工事 | 8 エコキュートや太陽光パネルなどの設置 |
| 9 基礎、構造の補強（耐震補強） | 10 防犯設備 |
| 11 二世帯住宅化 | 12 その他（ ） |

③昭和55年以前に建築された住宅にお住まいの方にお聞きします。住宅の耐震対策を行うにあたり、不安に思っていることは何ですか。[○は2つまで]

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1 費用がかかりすぎる | 2 信頼できる業者などの情報が不足している |
| 3 相談する相手がいない | 4 耐震基準を満たしているので不安はない |
| 5 その他（ ） | |

【問12】借家にお住まいの方にお聞きします。

①家賃の月額はいくらですか。[○は1つ]

- | | | |
|-----------|------------|---------------|
| 1 2万円未満 | 2 2～4万円未満 | 3 4～6万円未満 |
| 4 6～8万円未満 | 5 8～10万円未満 | 6 10万円以上（ ）万円 |

②マイホームを持つことに対してどのようにお考えですか。[○は1つ]

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1 無理して持つ必要は無い | 2 多少無理しても持ちたい | 3 どちらともいえない |
|---------------|---------------|-------------|

【問13】新規で中古住宅を取得することについてどのようにお考えです。[○は1つ]

- | | |
|-----------|---------------|
| 1 ぜひ取得したい | 2 条件があれば取得したい |
| 3 取得したくない | 4 特にこだわりはない |

【問14】現在の住宅についてお聞きします。

①どの程度満足されていますか。[○は1つ]

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 満足している | 2 おおむね満足している |
| 3 やや不満である | 4 不満である |

②①で3または4を選んだ方にお聞きします。現在の住宅について不満な点や困っていることは何ですか。[○は3つまで]

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 住宅が老朽化している | 2 日当たりや風通しが悪い |
| 3 家が狭い | 4 敷地が狭い |
| 5 間取りが良くない・収納が少ない | 6 水まわりなどの設備が不十分 |
| 7 耐震性など防災性に不安がある | 8 防犯性に不安がある |
| 9 バリアフリー化されていない | 10 シックハウスで体調が優れない |
| 11 結露が発生する | 12 騒音や振動が気になる |
| 13 住宅の維持管理が難しい | 14 家賃やローンが高い |
| 15 その他（ ） | |

【問 15】住宅における環境対策として興味があるものは何ですか。[○は2つまで]

- 1 地域の木材が多く使われている
- 2 耐久性が高く長寿命化が図られている
- 3 ペアガラスなどが使われ、気密性が高く省エネ化が図られている
- 4 庭や壁の緑化が進められ、ヒートアイランド現象の緩和に役立つ
- 5 太陽光や風力発電などを活用した新エネルギー設備が導入されている
- 6 節水型機器、雨水貯留タンクの導入など、節水、活水対策などが図られている
- 7 ダニ、カビなどの発生を抑える調湿材の活用やシックハウス対策が図られている

【問 16】高齢期にどのような住宅で暮らしたいですか。[○は1つ]

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 現在の住まい | 2 将来新築または購入する予定の住居 |
| 3 安価な家賃の公営住宅 | 4 老人ホームなどの施設 |
| 5 高齢者向けケア付き賃貸住宅 | 6 グループホーム |
| 7 わからない | 8 その他 () |

■住環境について

【問 17】現在の住環境についてお聞きします。

①どの程度満足されていますか。[○は1つ]

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 満足している | 2 おおむね満足している |
| 3 やや不満である | 4 不満である |

②①で3または4を選んだ方にお聞きします。現在住んでいる場所の周辺環境について不満な点や困っていることは何ですか。[○は3つまで]

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 公共交通の利便性が悪い | 2 道路環境が悪い(交通量が多いなど) |
| 3 建物が密集している | 4 マンションなどにより日当たりが悪い |
| 5 食料品などの買い物に不便である | 6 公園や緑地が少ない |
| 7 病院や福祉施設などが遠い | 8 教育施設や文化施設が遠い |
| 9 子育て支援施設が遠い | 10 防犯の面で不安がある |
| 11 自然災害に対し、防災の面で不安がある | 12 まちの景観が悪い |
| 13 ご近所の人たちとの付き合いがない | 14 その他 () |

【問 18】子どもを育てやすい住環境として重要だと思うことは何ですか。[○は3つまで]

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 子どもが安心して遊べる場所があること | 2 道路に安全な歩行者空間があること |
| 3 防犯対策が充実していること | 4 幼稚園・小学校などが近くにあること |
| 5 小児科等医療機関が近くにあること | 6 乳幼児を連れて外出しやすい環境があること |
| 7 子育て支援施設が近くにあること | 8 情報提供や相談体制などが充実していること |
| 9 親同士のコミュニティがあること | 10 その他 () |

【問 19】高齢者やしょうがい者が暮らしやすい住環境として重要だと思うことは何ですか。【○は2つまで】

- 1 買い物、通院などの日常生活が便利であること
- 2 住宅や住宅周辺などがバリアフリー化されていること
- 3 高齢者やしょうがい者に配慮した民間賃貸住宅や公営住宅が充実していること
- 4 住宅の情報提供や相談体制が充実していること
- 5 公的住宅への入居がしやすい仕組みがあること
- 6 二世帯住宅など支えてくれる人と暮らせること
- 7 介護サービスなどが受けやすいこと
- 8 その他（ ）

■今後の長浜市の住まいづくりについて

【問 20】今後の住まいづくりにおいて、どのようなものが必要だと思いますか。

※住まいづくりの「住まい」とは・・・住宅や住環境を含めたもの 【○は3つまで】

- 1 災害に強い住まいづくり
- 2 健康に配慮した住まいづくり
- 3 省エネ・省資源に配慮した住まいづくり
- 4 景観に配慮した住まいづくり（建物の色やデザインの調和など）
- 5 高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり
- 6 安心して子育てできる住まいづくり
- 7 地域コミュニティが充実している住まいづくり
- 8 自然環境や歴史と調和した住まいづくり
- 9 民間賃貸住宅の供給を促進する住まいづくり
- 10 持家取得を促進する住まいづくり

■定住や転居などに対する意向について

【問 21】現在の住まいに住み続けたいですか。【○は1つ】

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 このまま住み続けたい | 2 いずれ転居・転出したい |
| 3 転居・転出したい | 4 わからない |

【問 22】問 21 で 2 または 3 を選んだ方にお聞きします。

①長浜市内で転居または長浜市外に転出する場合、どこに住みたいですか。【○は1つ】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 長浜駅周辺の中心市街地 | 2 南部地域（長浜地域） |
| 3 中部地域（浅井・びわ・虎姫・湖北地域） | 4 北部地域（高月・木之本・余呉・西浅井地域） |
| 5 県内（ ）市・町 | 6 県外（ ）都・道・府・県 |
| 7 特にこだわりはない | |

②問 21 で 2 または 3 を選んだ方にお聞きします。長浜市内で転居または長浜市外に転出する場合、その理由は何ですか。 [○は 3 つまで]

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 家が狭いため | 2 住宅の設備・部屋構成が良くないため |
| 3 道路・下水道などの基盤施設が良くないため | 4 買物・通院など日常生活が不便なため |
| 5 通勤・通学が不便なため | 6 子どもの教育環境が良くないため |
| 7 まちの歴史や文化、土地柄が良くないため | 8 緑や水辺などの自然環境が良くないため |
| 9 親や子の住まいから遠いため | 10 親せきや知人などの住まいから遠いため |
| 11 防犯や防災に不安があるため | 12 家賃が高いため |
| 13 その他 () | |

【問 23】転居・転入されたことがある方にお聞きします。

①以前のお住まいはどこですか。 [○は 1 つ]

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1 長浜駅周辺の中心市街地 | 2 南部地域 (長浜地域) |
| 3 中部地域 (浅井・びわ・虎姫・湖北地域) | 4 北部地域 (高月・木之本・余呉・西浅井地域) |
| 5 県内 () 市・町) | 6 県外 () 都・道・府・県) |

②長浜市内で転居または長浜市内に転入された理由は何ですか。 [○は 3 つまで]

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 家が広いため | 2 住宅の設備・部屋構成が良いため |
| 3 道路・下水道などの基盤施設が良いため | 4 買物・通院など日常生活が便利なため |
| 5 通勤・通学が便利なため | 6 子どもの教育環境が良いため |
| 7 まちの歴史や文化、土地柄が良いため | 8 緑や水辺などの自然環境が良いため |
| 9 親や子の住まいから近いため | 10 親せきや知人などの住まいから近いため |
| 11 防犯や防災に不安がないため | 12 家賃が安いため |
| 13 その他 () | |

③以前の住宅の種類は何ですか。 [○は 1 つ]

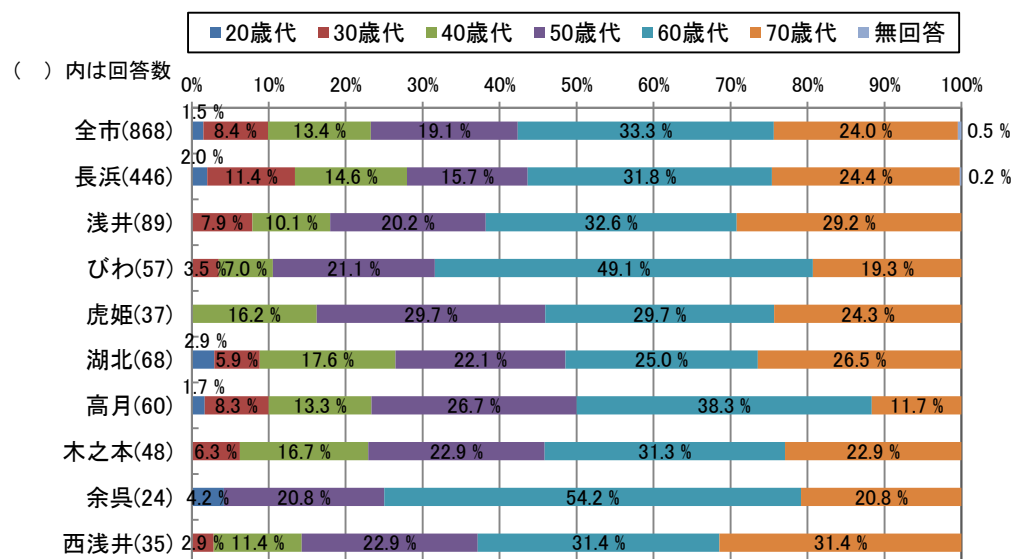
- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1 持家 (一戸建) | 2 持家 (マンション) | 3 持家 (長屋) |
| 4 民間賃貸住宅 (一戸建) | 5 民間賃貸住宅 (アパート) | 6 公営住宅 (市営・県営) |
| 7 公社・公団住宅 (賃貸) | 8 社宅・官舎・寮 | 9 その他 () |

最後に、今後の住宅施策に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
ご協力ありがとうございました。本アンケートの結果については、個人情報に留意し、
長浜市で策定する「長浜市住生活基本計画」へ反映させていただきます。

Ⅲ-2 調査の結果

問1 世帯主の年齢

「60歳代」「70歳以上」「50歳代」など年齢層の高い人が多くなっています。
特に、びわ地域、余呉地域では年齢層が高くなっています。

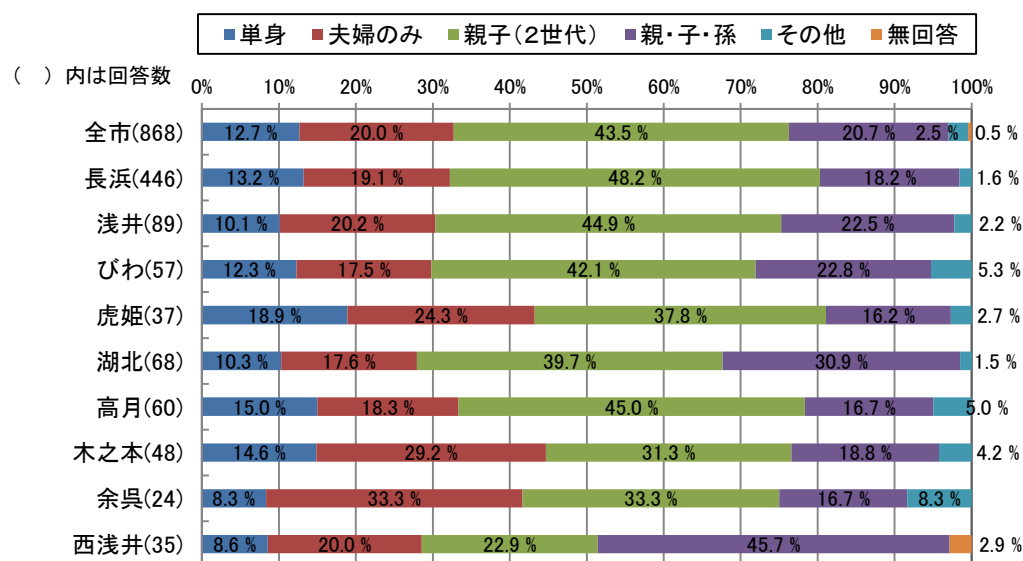


問2 同居家族の形態と構成

①家族形態

「親子（2世代）」が4割強のほか、「親・子・孫（3世代）」「夫婦のみ」が多くなっています。「単身」は1割強にとどまっています。

木之本、虎姫、余呉地域では「単身」と「夫婦のみ」とで4割以上を占めています。



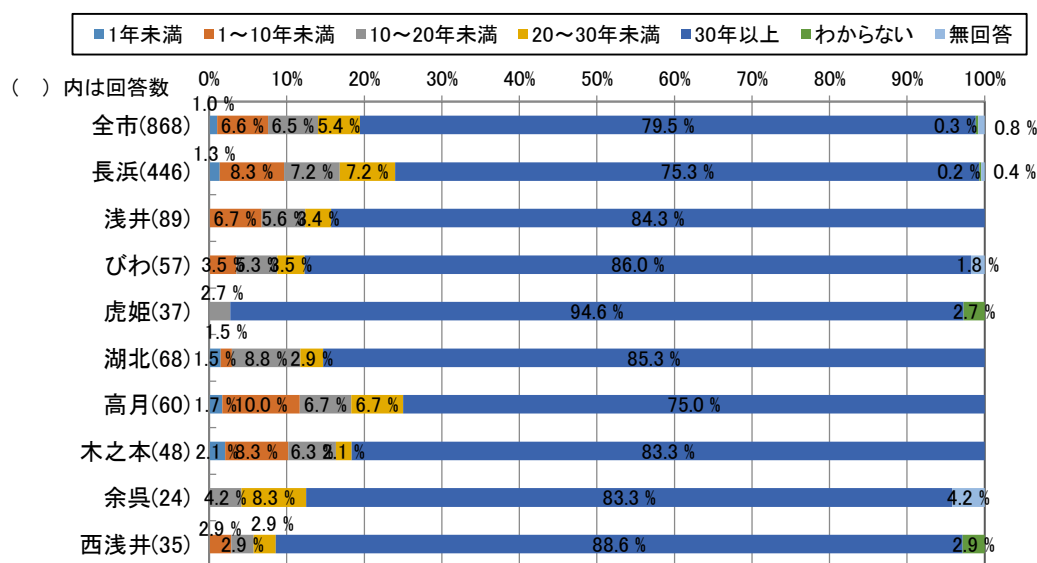
②世帯全員の年齢

回答した世帯のすべての世帯員を男女別にみると、男性では「60歳代」、女性では「70歳代」が最も多く、また年代別にみると、男女ともに20歳未満、30歳未満の若年層が少ない構成になっています。市の人口構成よりも年齢層の高い人の比率が高くなっています。

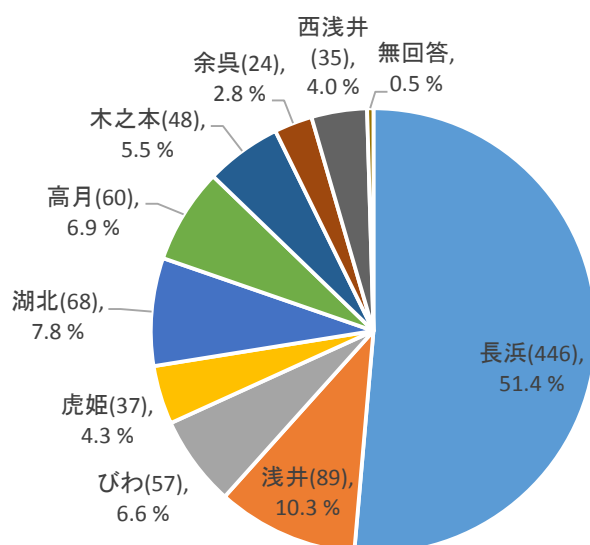
問3 長浜市での居住年数

「30年以上」が約8割を占めています。

各地域とも「30年以上」が大半を占め、虎姫地域では9割以上を占めています。高月、長浜、木之本地域では「10年未満」がやや多くみられます。



問4 居住地域

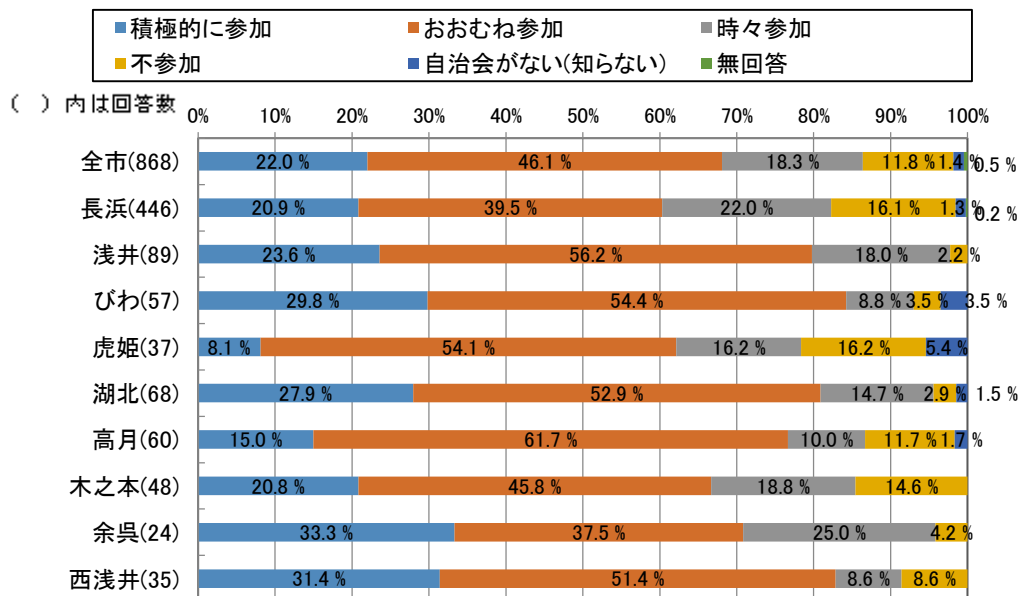


問5 地域コミュニティへの参加

① 自治会活動など地域の行事への参加

「おおむね参加している」が半数近くで最も多く、「積極的に参加」「時々参加」を含め8割以上が何らかの形で参加しています。

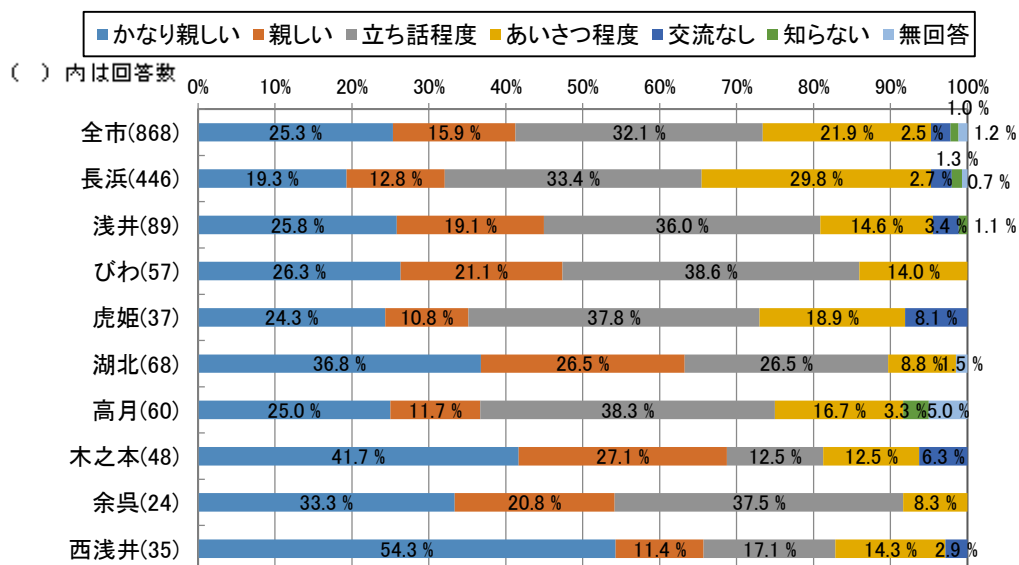
虎姫、長浜、木之本地域は「不参加」がやや多めです。



② 隣近所との交流

「立ち話をする程度」が最も多く、「お互い助け合ってかなり親しくしている」、「あいさつをする程度である」も比較的多くなっています。「立ち話程度」や「あいさつ程度」の合計が「かなり親しい」と「親しい」の合計をやや上回っています。

長浜、高月地域では、「立ち話程度」や「あいさつ程度」が多く、西浅井、木之本、湖北、余呉地域では「かなり親しい」と「親しい」とが半数を超えています。



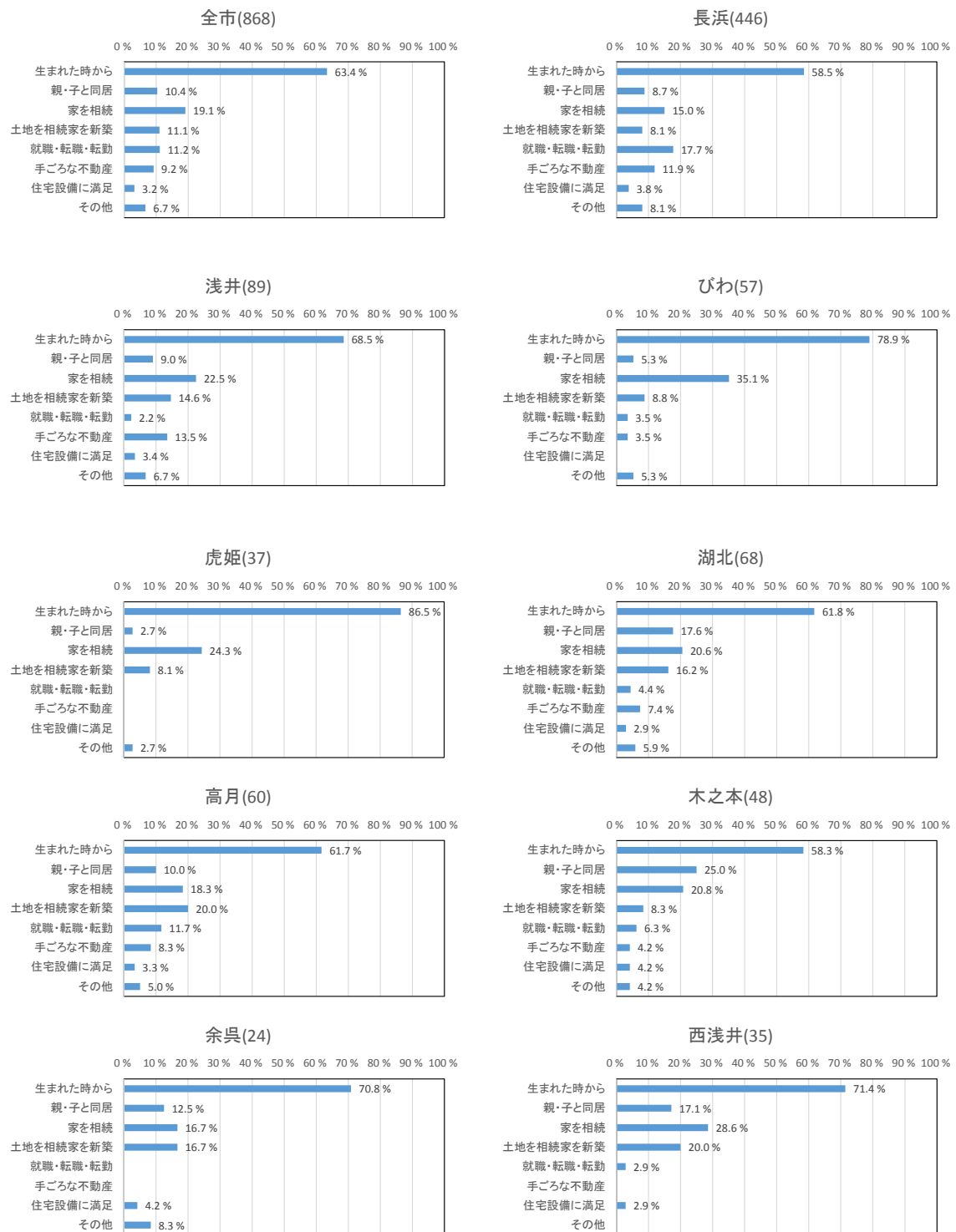
問6 長浜市に住んでいる理由（2つまで）

「生まれた時から住んでいるため」が突出しています。これ以外では家や土地の相続などの理由が比較的多くなっています。

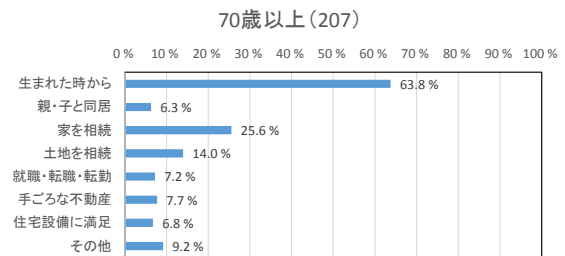
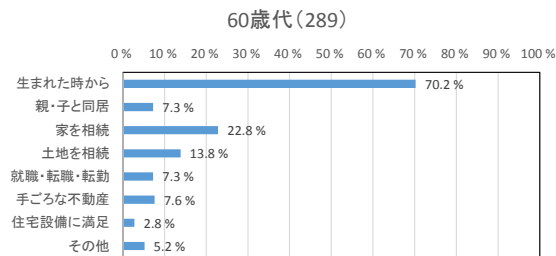
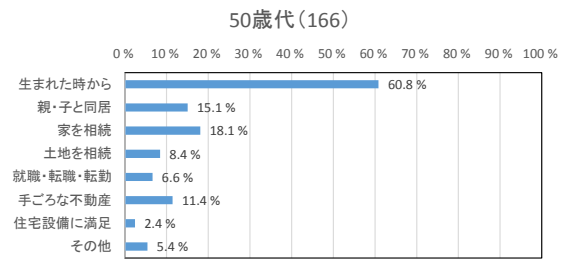
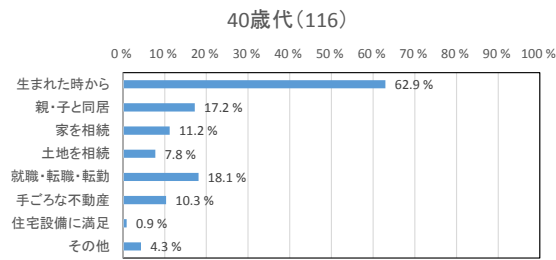
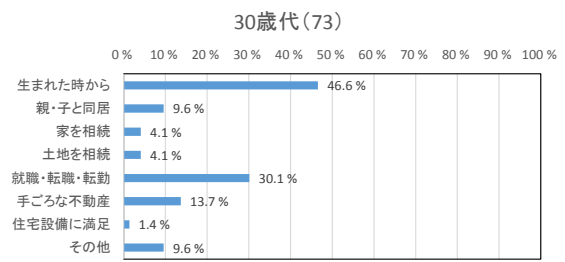
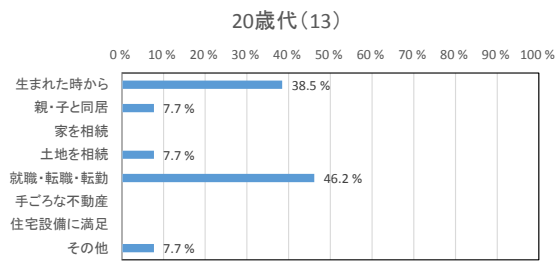
長浜地域では「就職・転職・転勤」が他地域よりも多めです。

また、20歳代、30歳代では「就職・転職・転勤」が比較的多くみられます。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



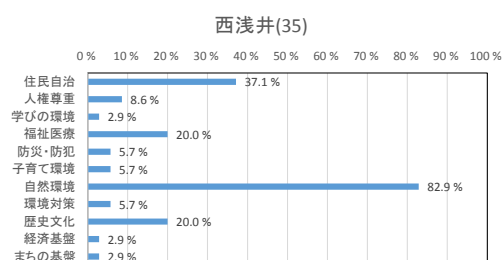
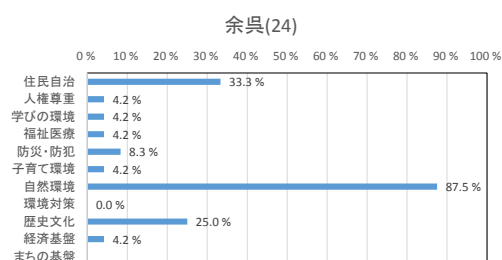
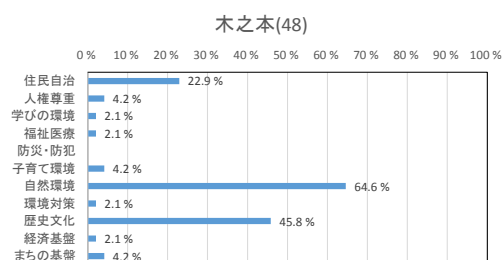
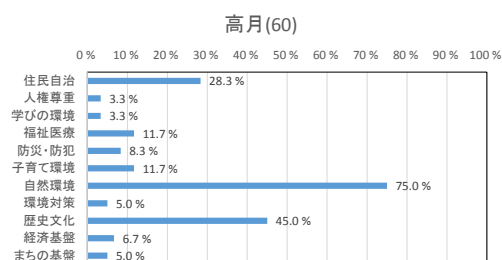
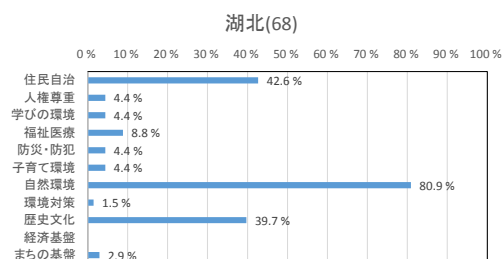
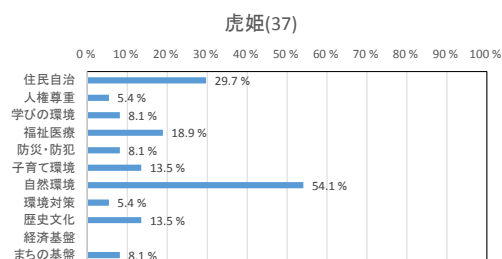
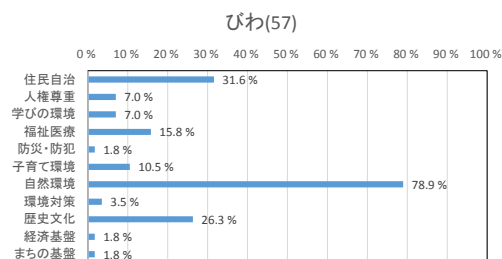
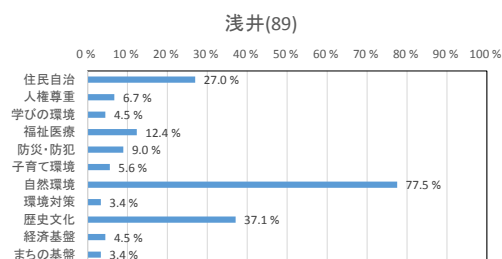
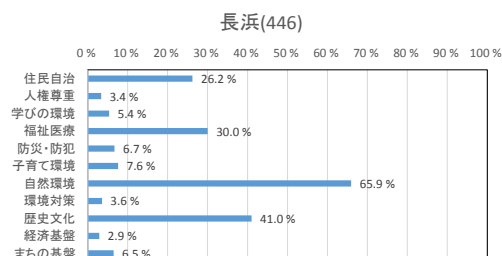
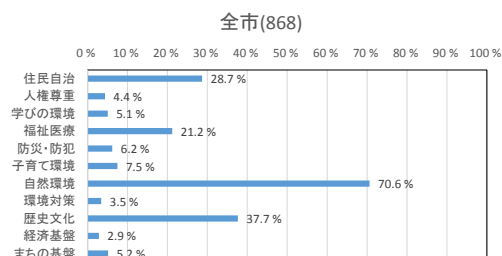
問7 長浜市に住んでいて感じるまちの魅力（3つまで）

7割が「自然環境が豊かなところ」をあげています。このほか、「歴史や文化が市域に根付いているところ」「住民自治がしっかりしているところ」が比較的多くなっています。

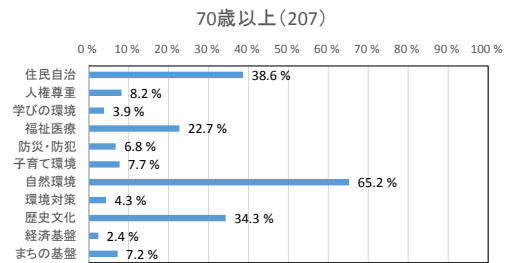
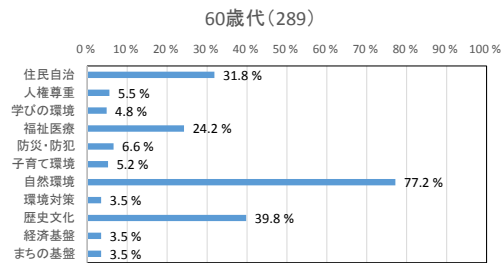
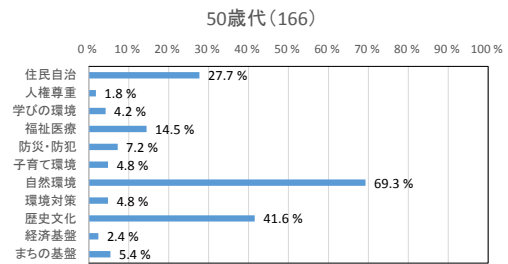
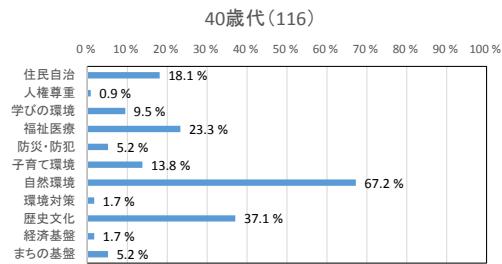
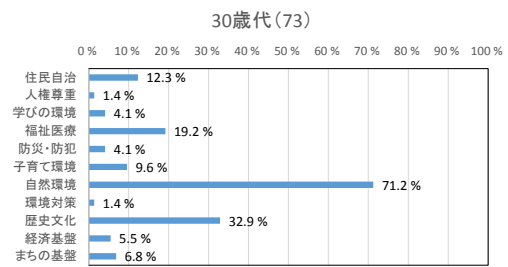
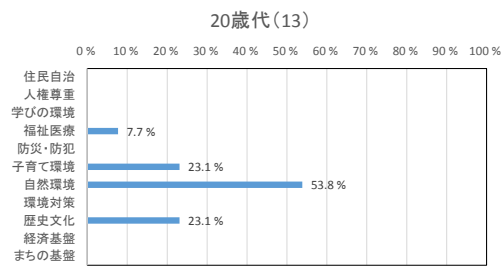
各地域、各年代が「自然環境が豊かなところ」を多くあげています。

長浜地域では「医療や福祉が充実しているところ」も比較的多くなっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）

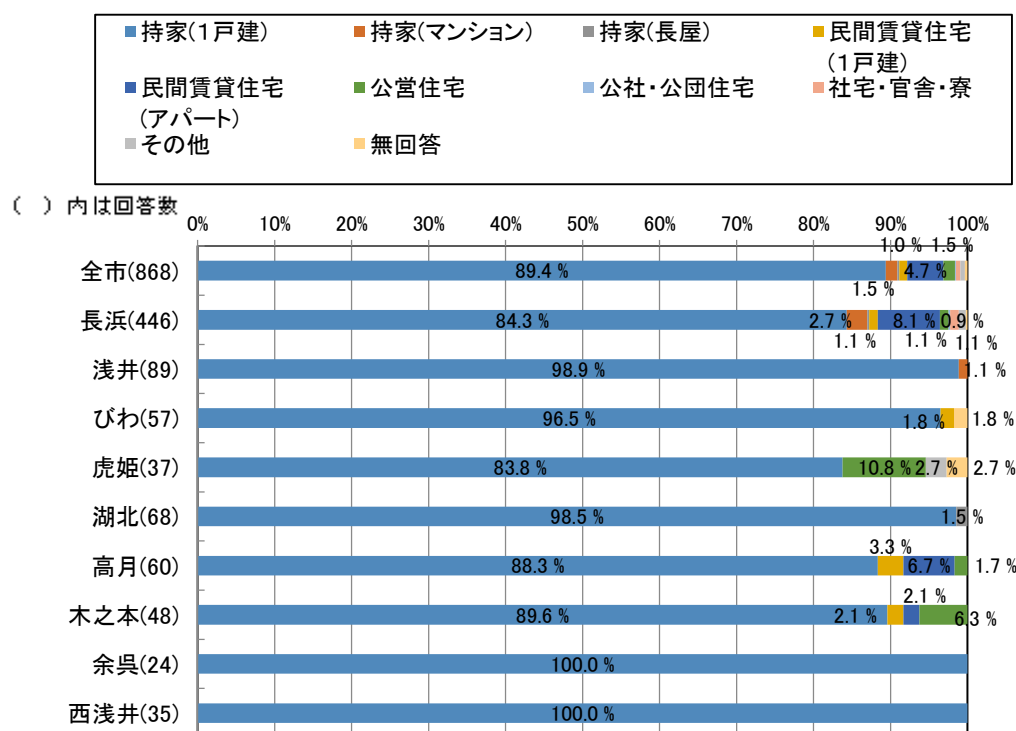


3. 住宅について

問8 現在の住まいの所有関係

大半が「持ち家」に住んでいます。その他の住宅の中では「民間賃貸住宅（アパート）」がやや多くみられます。

長浜、高月地域では「民間賃貸住宅（アパート）」など、虎姫、木之本地域では「公営住宅」などの「持家」以外が1割を超えています。一方、余呉、西浅井地域はすべて「持ち家」となっています。

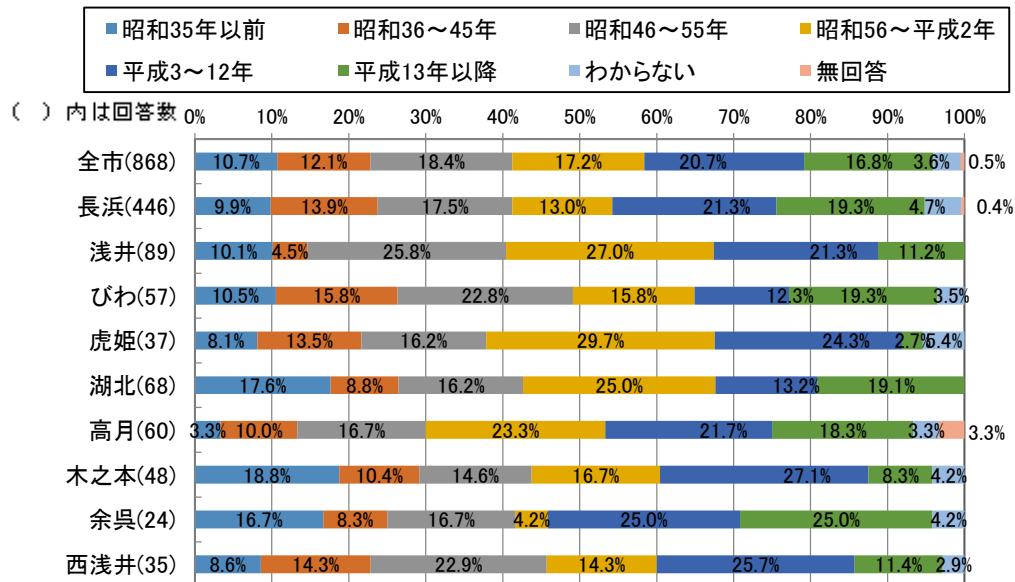


問9 住宅の建築時期

各年代に分布しており、昭和55年以前の住宅も4割程度みられます。

昭和55年以前の住宅は高月地域では比較的少なく、びわ、西浅井地域ではやや多くなっています。

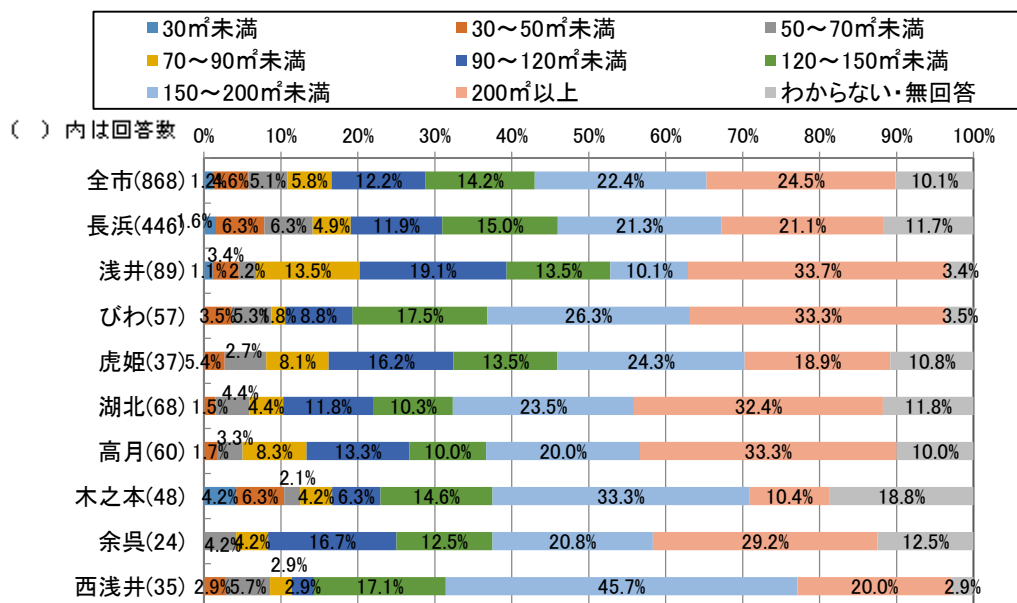
特にびわ地域では半数近くが昭和55年以前の住宅となっています。



問10 住宅の延床面積

「200㎡以上」「150～200㎡未満」など比較的規模の大きい住宅が多くなっています。

長浜、浅井、木之本地域では、一部に「30㎡未満」もみられます。

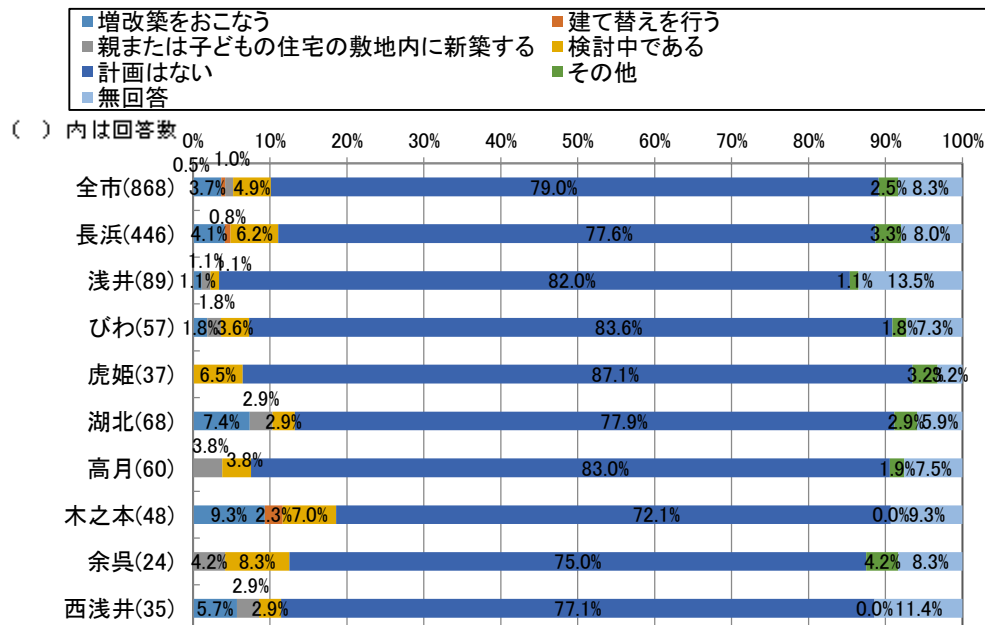


問 11 持ち家居住者への設問

①5年以内の増改築や建替えの計画

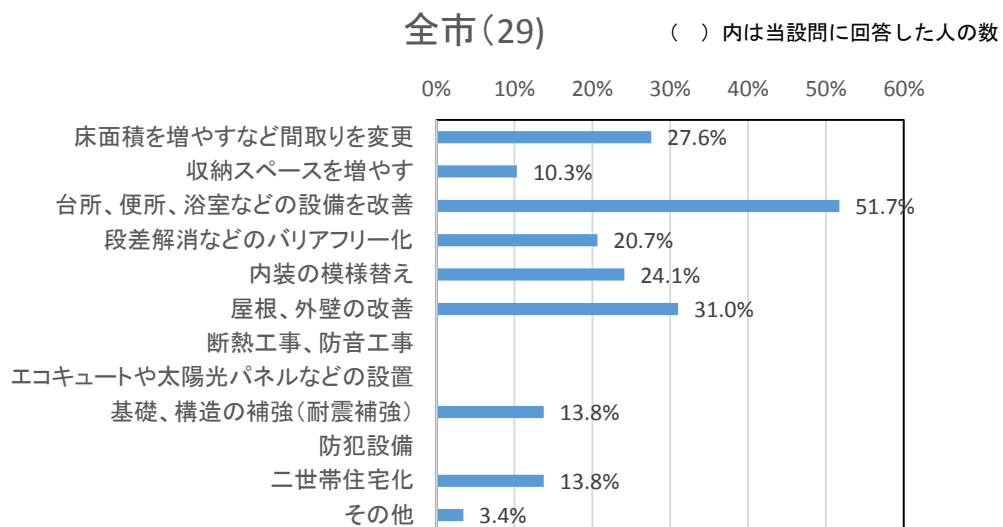
「計画はない」が8割前後を占めています。

「増改築」「建て替え」「新築」の計画があるや「検討中」は木之本地域でやや多くなっています。



③ 増改築の予定がある場合の内容 (3 つまで)

「台所、便所、浴室などの設備を改善する」が最も多く約5割があげています。次いで、「屋根、外壁の改善」「床面積を増やすなど間取りを変更する」「内装の模様替え」「段差解消などのバリアフリー化」「二世帯住宅化」「基礎、構造の補強(耐震補強)」などの順に多くなっています。



③昭和 55 年以前の住宅について、耐震対策を行うにあたっての不安（2 つまで）

各地域に共通して「費用がかかりすぎる」が最も多く、次いで「信頼できる業者などの情報が不足している」が比較的多くあげられています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）

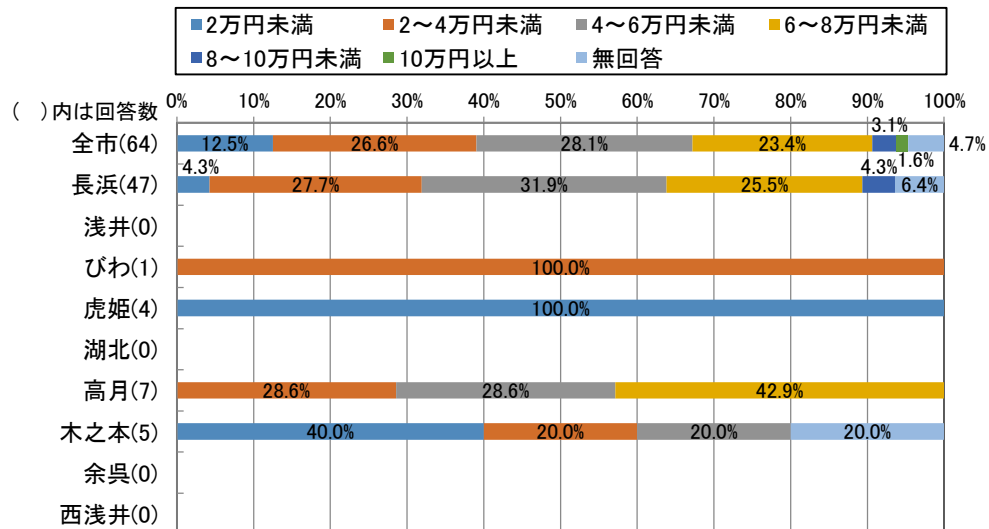


問 12 借家居住者への設問

① 家賃（月額）

「4～6万円」「2～4万円」「6～8万円」が多くなっています。

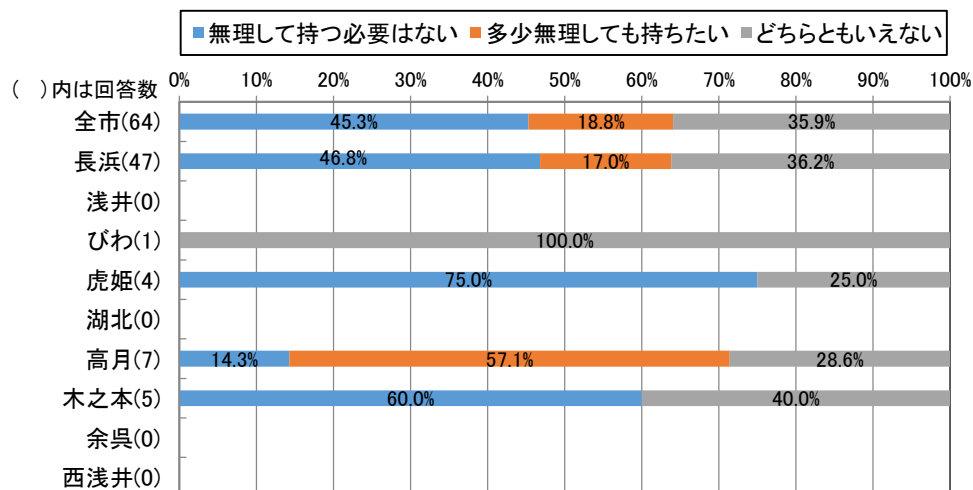
びわ、虎姫、木之本地域は相対的に低めの価格帯となっているのに対し、長浜、高月地域では高めの価格帯もみられます。



② マイホームを持つことについての考え

半数近くが「無理して持つ必要はない」と回答しています。「どちらともいえない」がこれに次いで多く、「多少無理しても持ちたい」は2割弱にとどまっています。

高月地域では、「多少無理しても持ちたい」が半数を超えています。



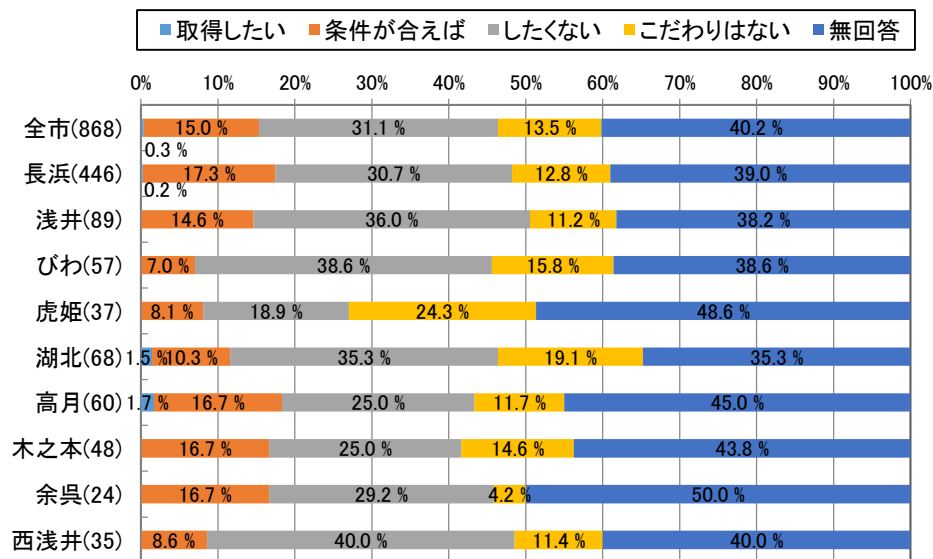
問 13 中古住宅の取得について

「不明・無回答」が約4割、「取得したくない」が約3割を占め、「取得したい」「条件が合えば取得したい」との回答は多くありません。

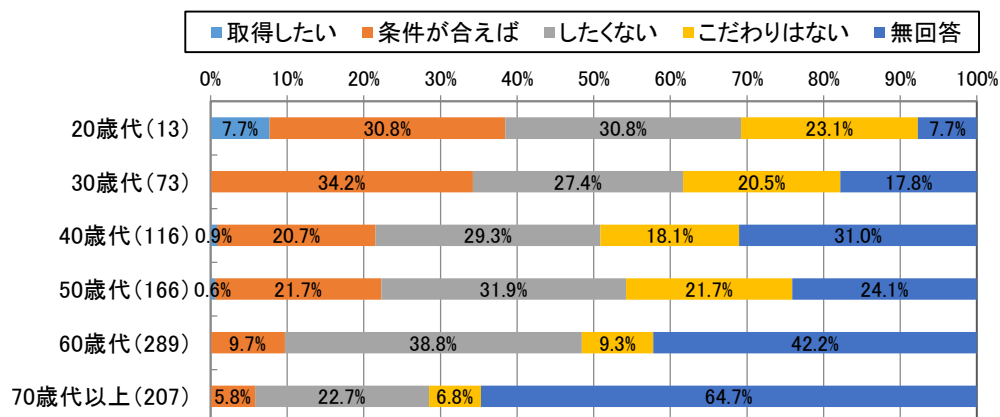
各地域とも「取得したくない」が「取得したい」「条件が合えば取得したい」を上回っています。

年代別では、若い世代ほど、取得意向が高い傾向にあります。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



問 14 現在の住宅について

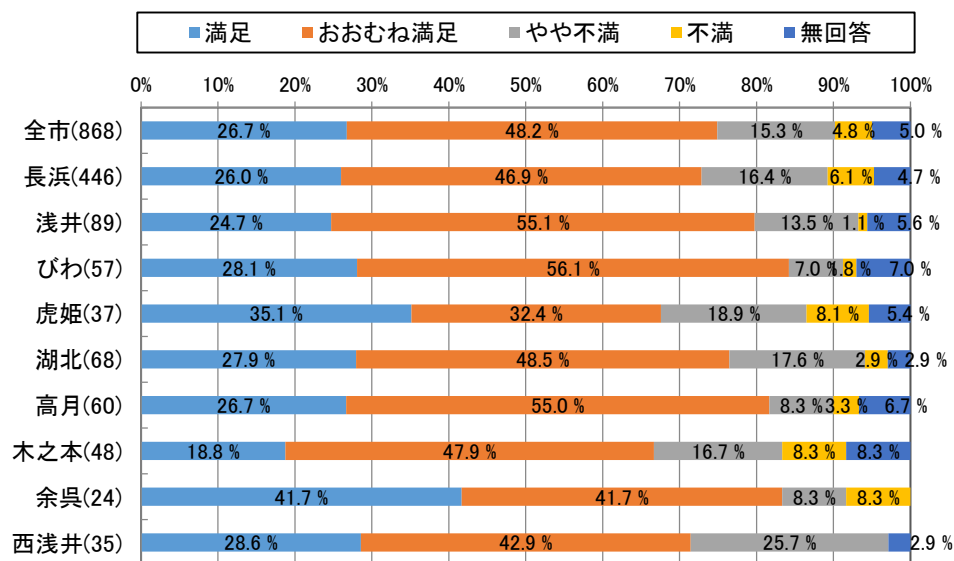
①満足度

「満足」と「おおむね満足」を足した「満足側」の方は全体で7割以上を占めており、「不満」と「やや不満」を足した「不満側」の方は2割と少なくなっています。

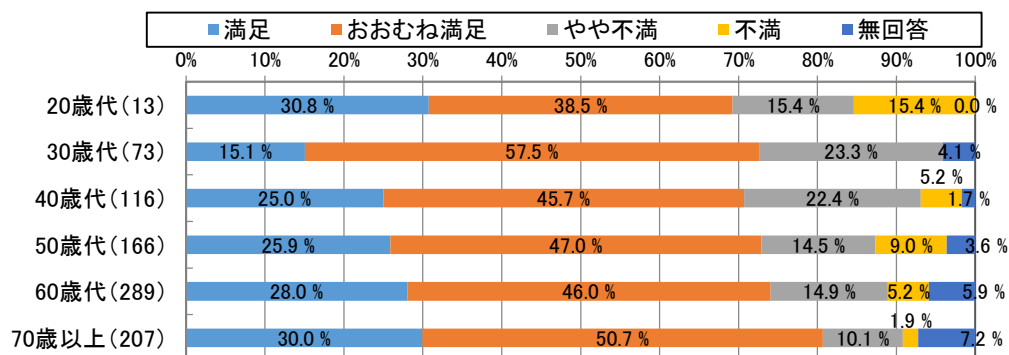
地域別では上から、びわ、余呉、高月地域で、「満足側」が多くなっています。

一方、「不満側」が他地域と比較して多いのは上から、虎姫、西浅井、木之本地域の順となっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



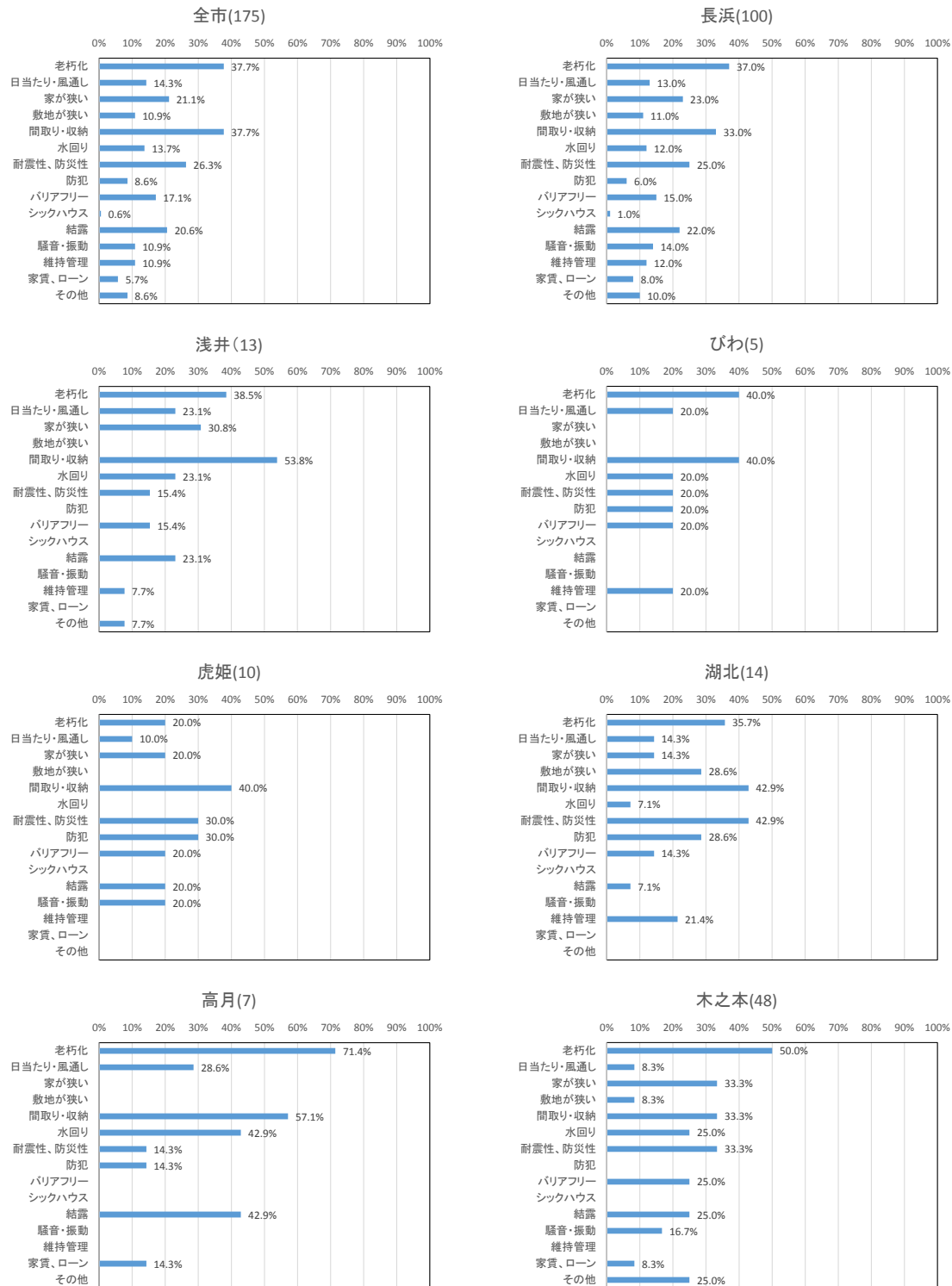
●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）

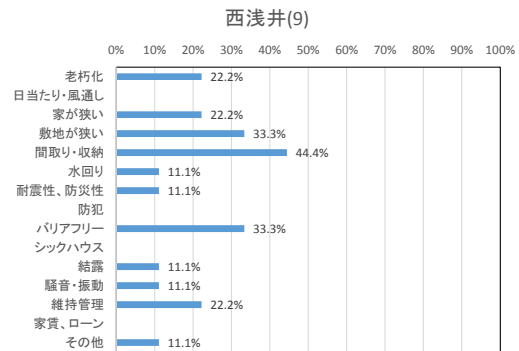
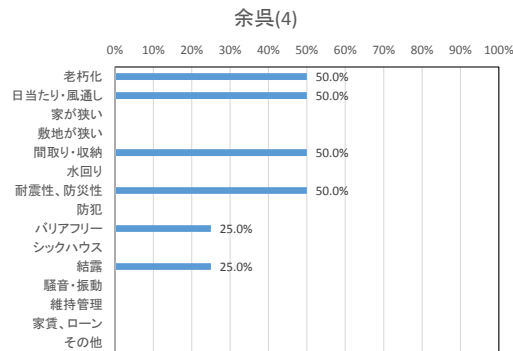


②不満な点や困っていること（「不満」「やや不満」と回答した人：3つまで）

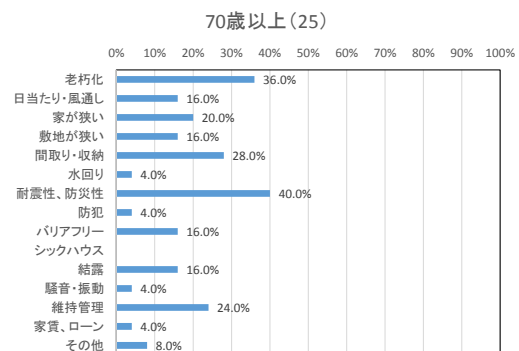
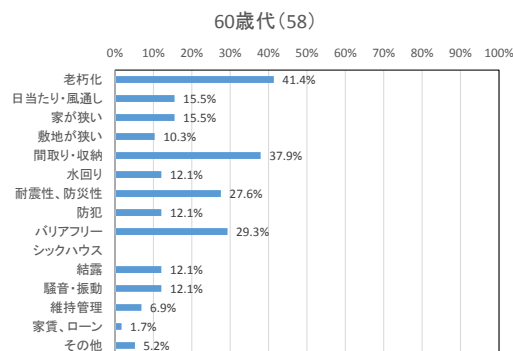
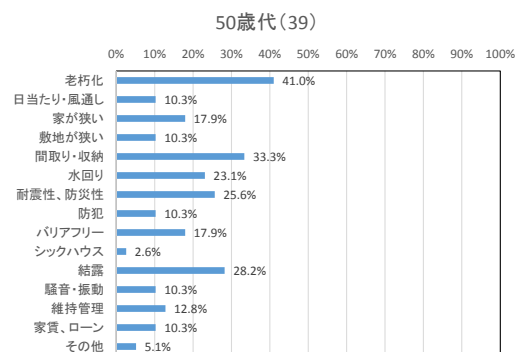
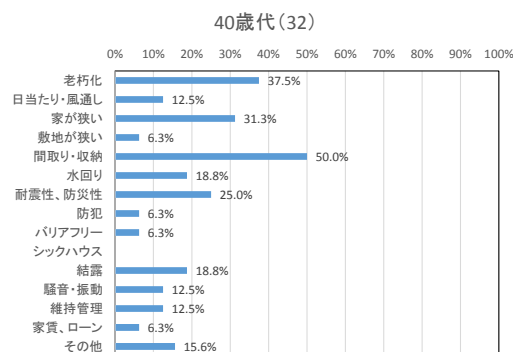
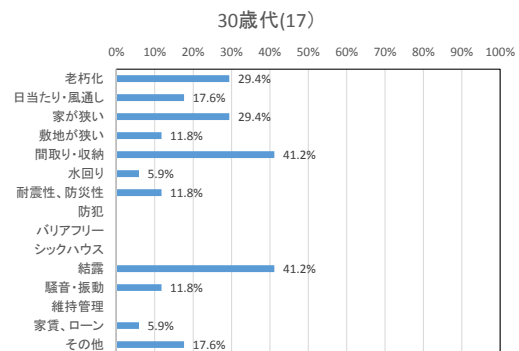
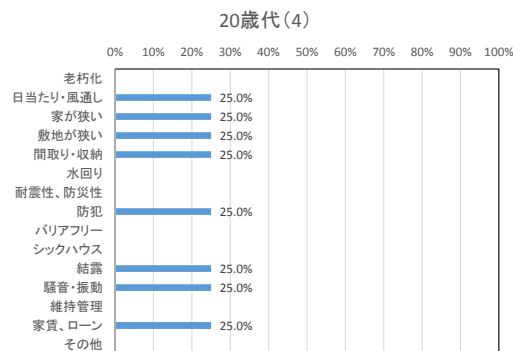
「自宅が老朽化している」、「間取りが良くない・収納が少ない」が多く、4割弱があげています。このほか「耐震性や防災性に不安がある」「家が狭い」「結露が発生する」「バリアフリー化されていない」などが比較的多くなっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）





●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



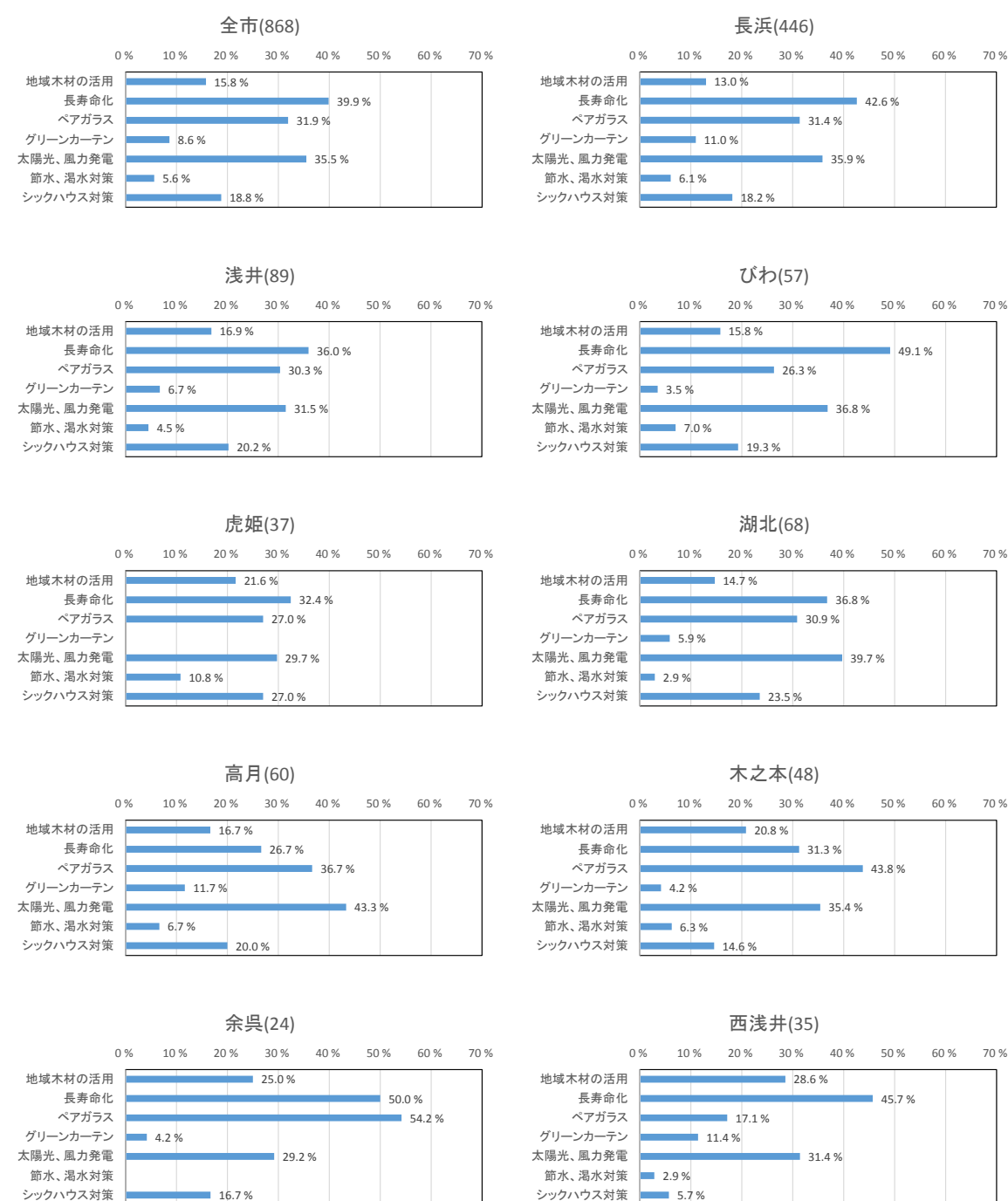
問 15 住宅における環境対策について（2 つまで）

全体では、「耐久性が高く長寿命化が図られている」「太陽光や風力発電などを活用した新エネルギー設備が導入されている」「ペアガラスなどが使われ、気密性が高く省エネ化が図られている」が上位3項目としてあがっています。

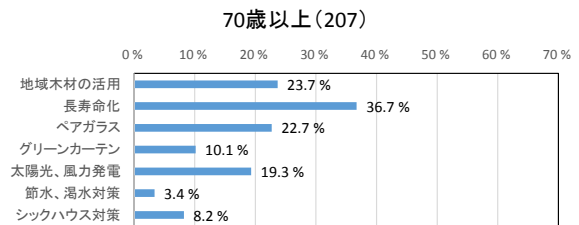
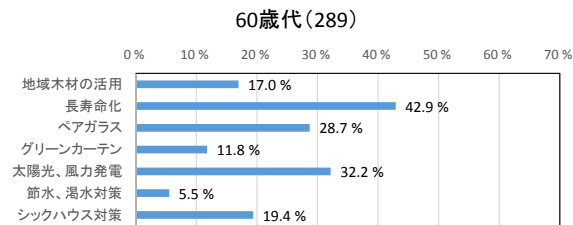
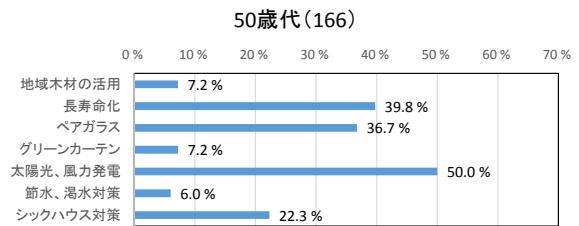
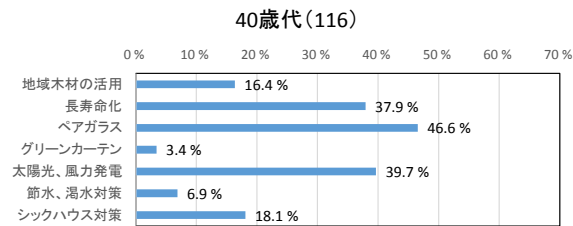
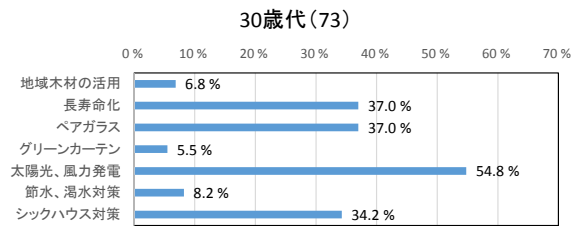
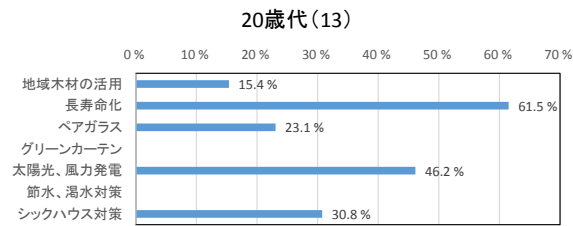
地域別では、高月、湖北地域で、「太陽光、風力発電」、木之本、余呉地域で「ペアガラス」が1位にあがっています。

年代別では、30歳代、50歳代で「太陽光、風力発電」、40歳代で「ペアガラス」が1位にあがっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）

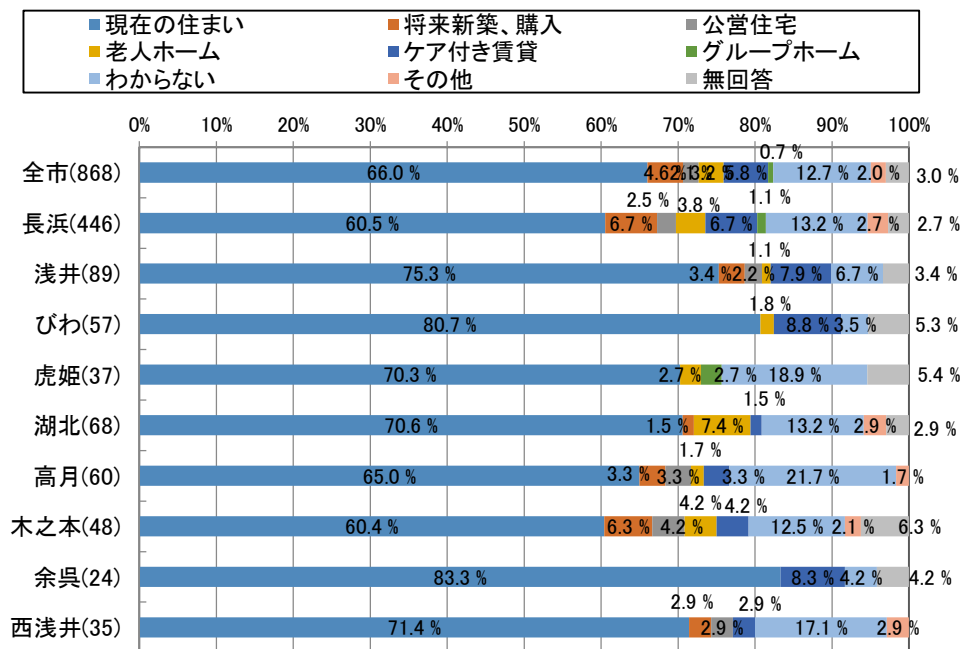


問 16 高齢期の住まいについて

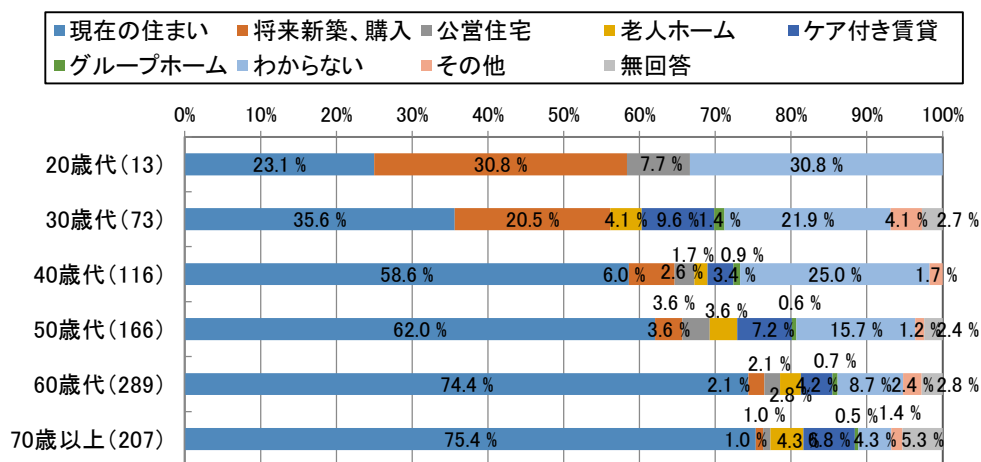
6割強が「現在の住まい」と回答しています。「わからない」も1割強みられます。その他の回答はごくわずかですが、「高齢者ケア付き賃貸住宅」がやや多くなっています。

若年層では「将来新築、購入」や「わからない」が多く、年齢層が高くなるにつれて「現在の住まい」が多くなる傾向がみられます。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



4. 住環境について

問 17 住環境の満足度

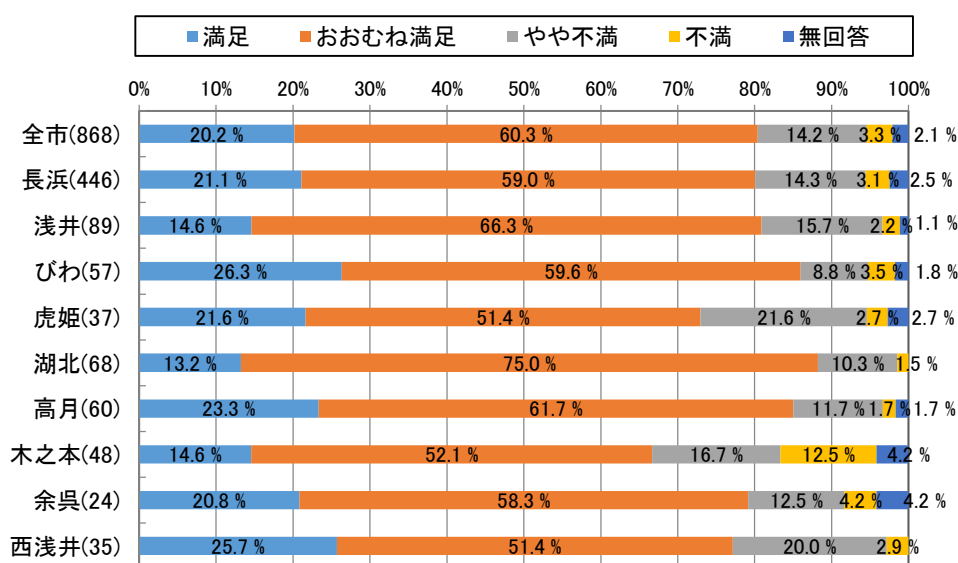
①満足度

「満足」と「おおむね満足」を足した「満足側」の方は8割程度を占めており、「不満」と「やや不満」を足した「不満側」の方は2割弱と少なくなっています。

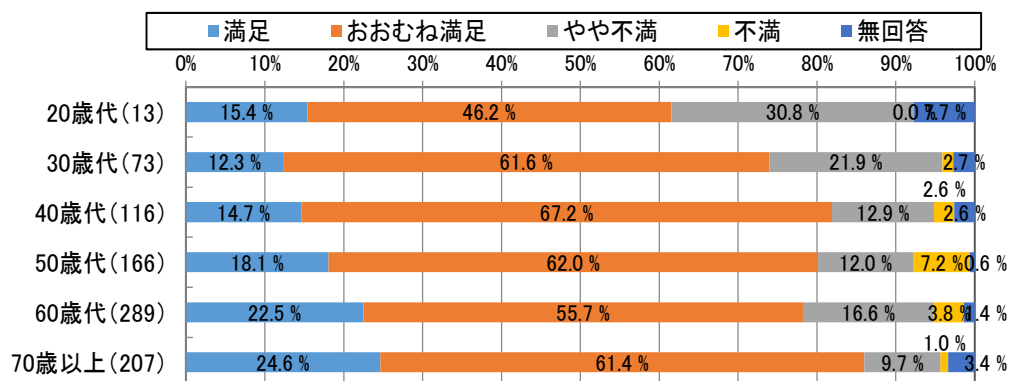
地域別では、びわ、湖北、高月地域で、「満足側」が特に多くなっています。

一方、「不満側」が他地域と比較して多いのは上から、木之本、虎姫地域の順となっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）

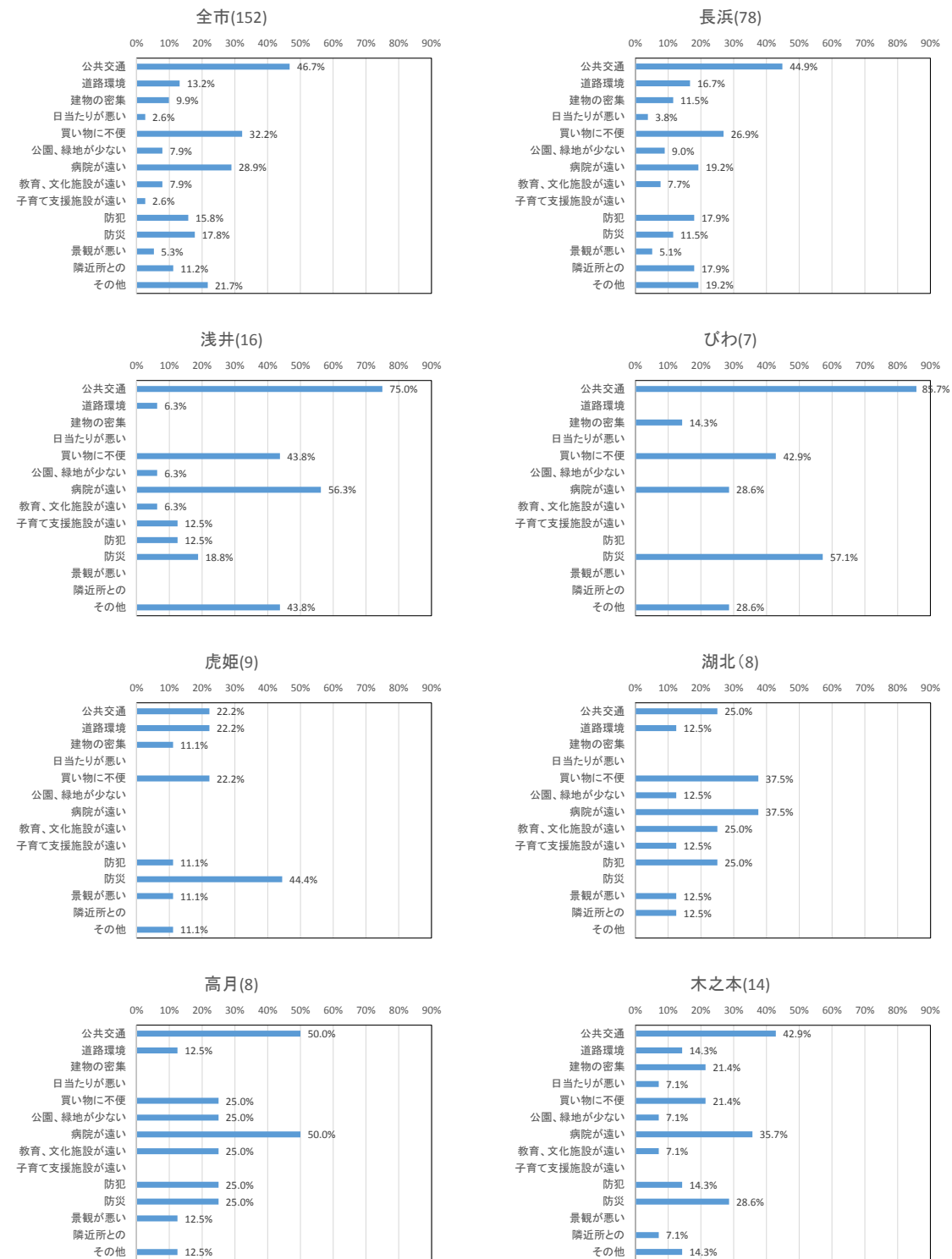


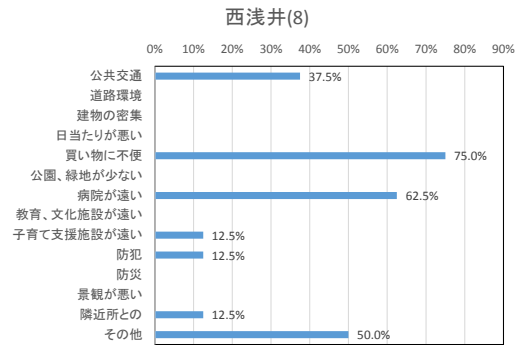
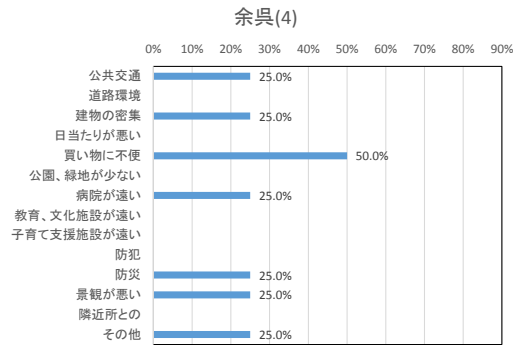
②不満な点や困っていること（「不満」「やや不満」と回答した人：3つまで）

「公共交通の利便性が悪い」が最も多いほか、「食料品などの買い物に不便である」「病院や福祉施設などが遠い」といった日常生活の利便性への不満が多くなっています。

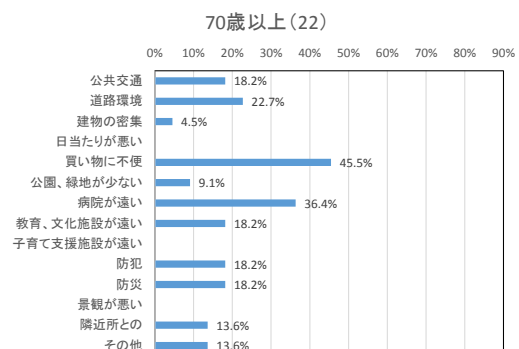
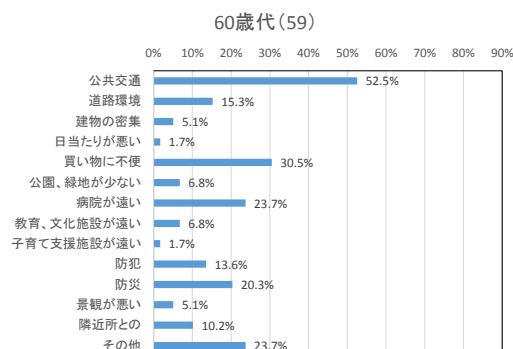
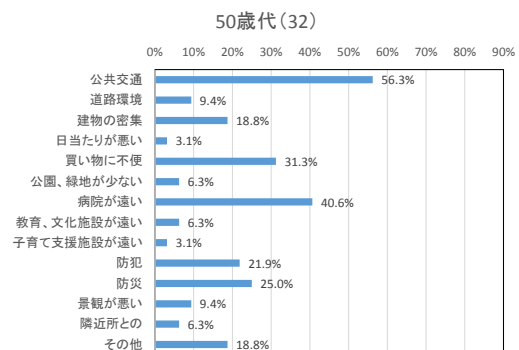
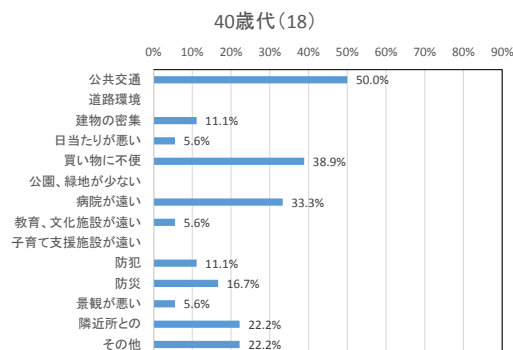
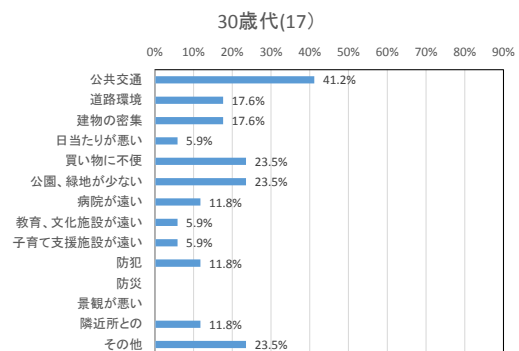
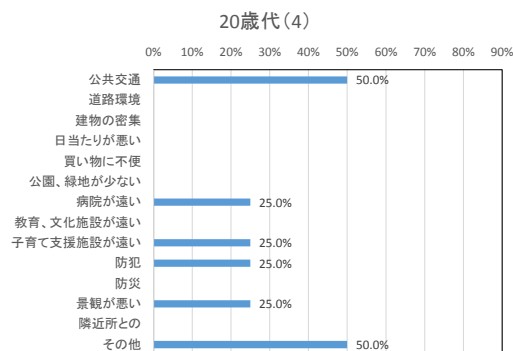
浅井地域では「公共交通」「病院が遠い」、びわ地域では、「公共交通」「防災」、西浅井地域では「買い物に不便」「病院が遠い」が特に多くなっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）





●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



問 18 子育てしやすい住環境（3 つまで）

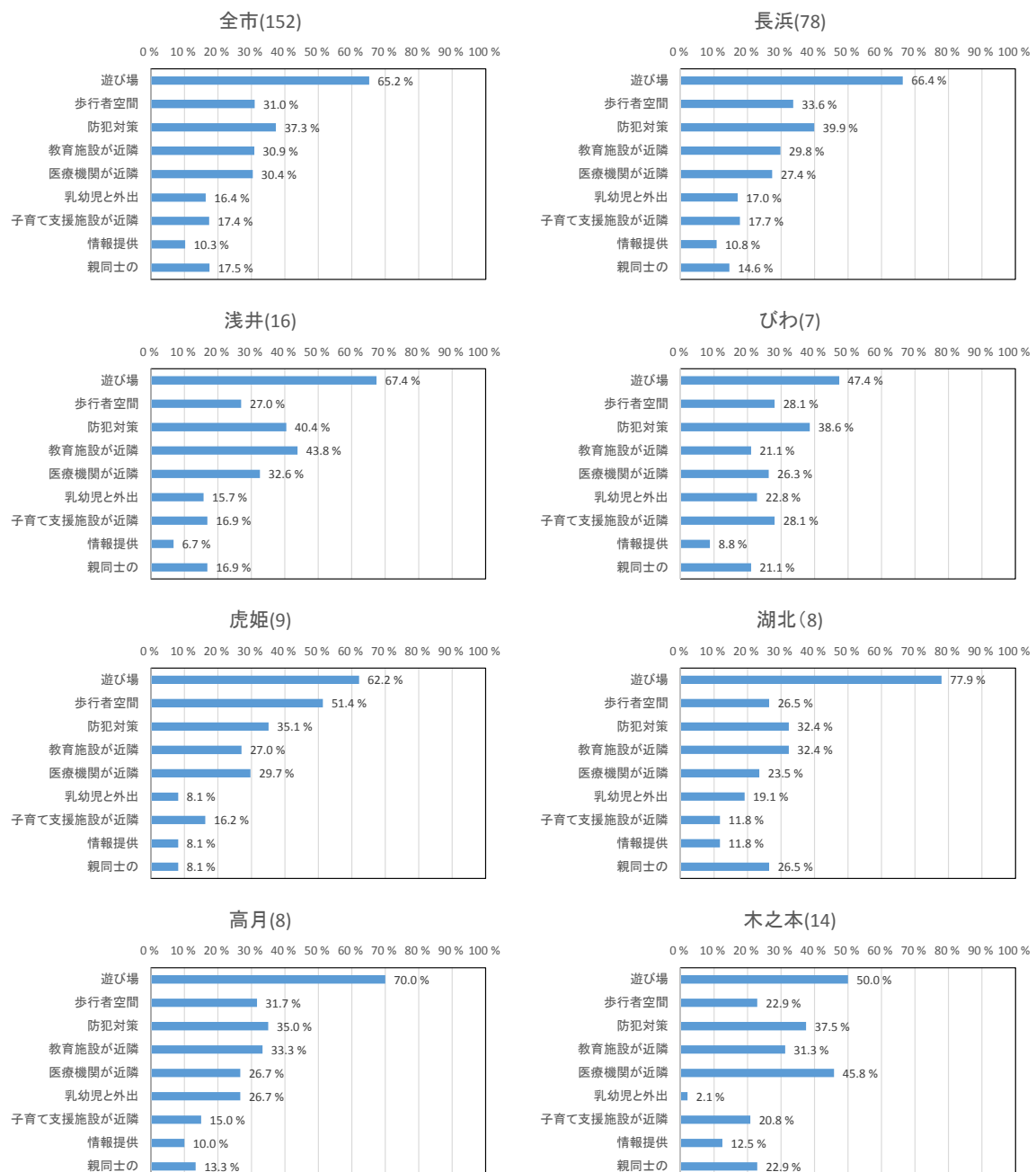
「子どもが安心して遊べる場所があること」が最も多く、次いで「防犯対策が充実していること」「道路に安全な歩行者空間があること」「幼稚園・小学校などが近くにあること」「小児科等医療機関が近くにあること」も比較的多くなっています。

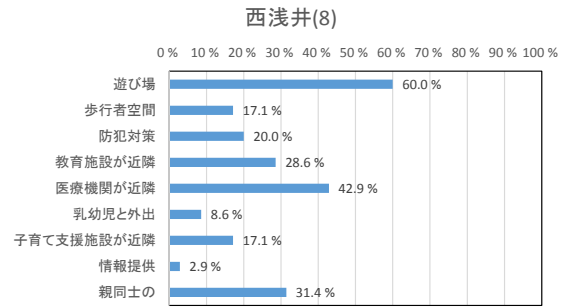
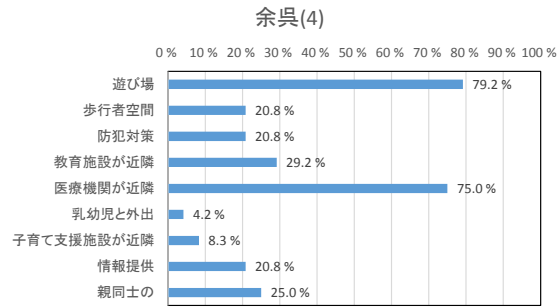
各地域、各年代とも「遊び場」が1位にあがっています。

地域別には、これに次ぎ、長浜、びわ、高月地域では「防犯」、浅井地域では「教育施設」、虎姫地域では「歩行者空間」、湖北地域では「防犯」と「教育施設」、木之本、余呉、西浅井地域では「医療機関」を重視しています。

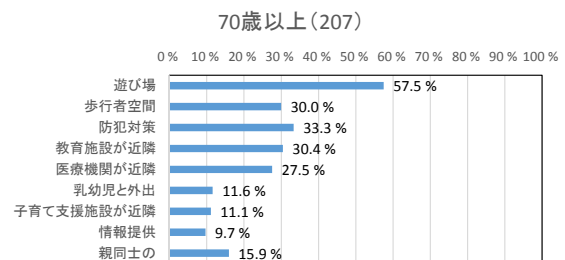
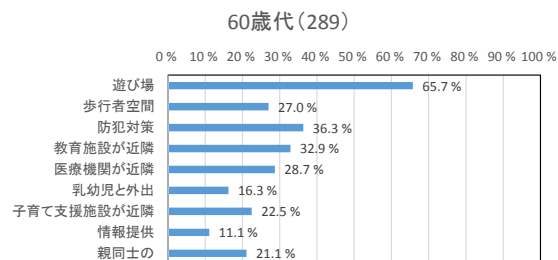
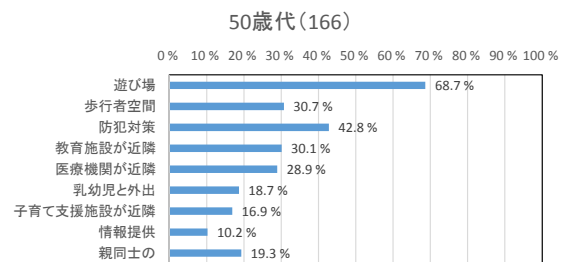
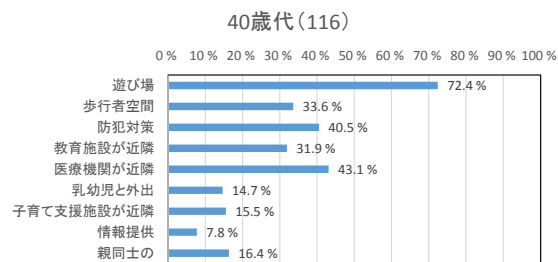
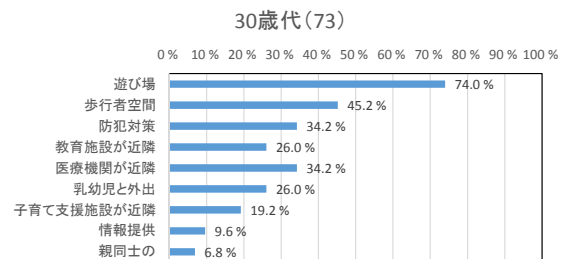
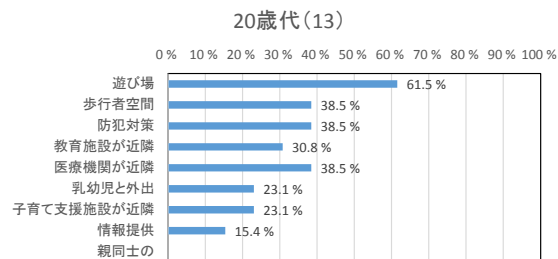
年代別には、「遊び場」に次いで、若年層は「歩行者空間」や「医療機関」、「防犯対策」を、50～70歳代は「防犯対策」を重視しています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）





●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



問 19 高齢者やしょうがい者が暮らしやすい住環境（2 つまで）

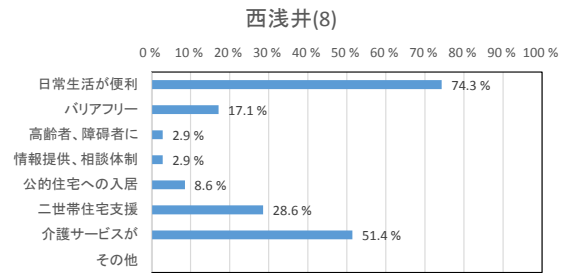
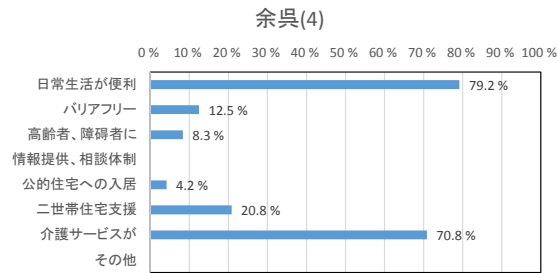
「買い物、通院などの日常生活が便利であること」、次いで「介護サービスなどが受けやすいこと」が多くあげられています。

各地域とも「利便性」次いで「介護サービス」が多くなっています。

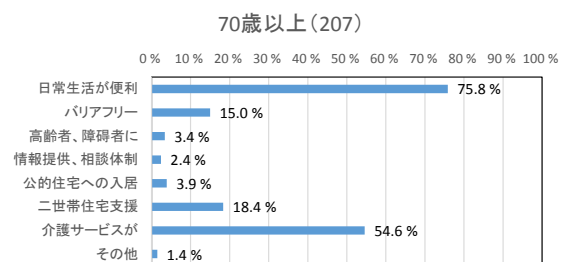
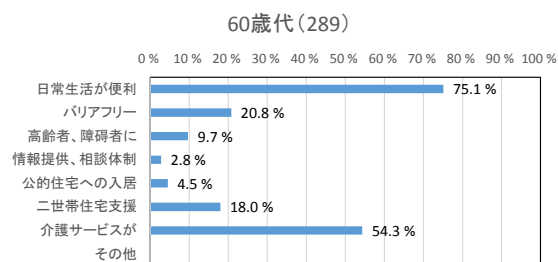
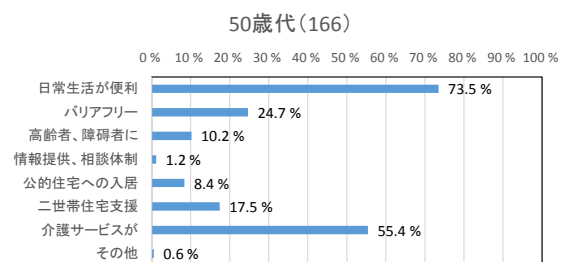
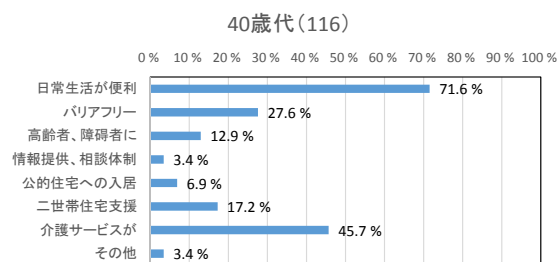
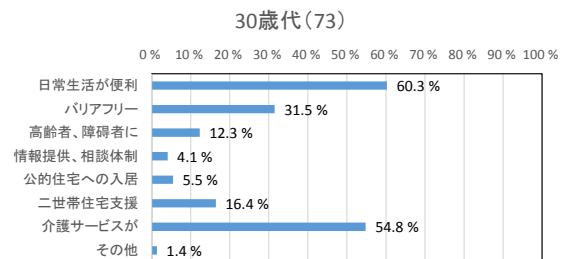
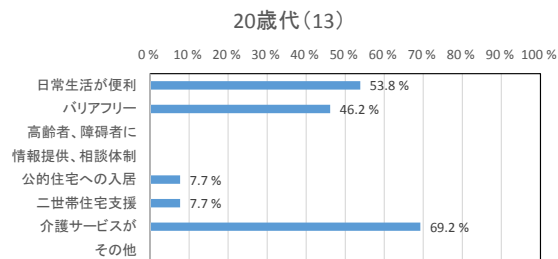
年代別にみると、若年層では「介護サービス」が多め、年齢の高い層では「利便性」が多めにあがっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）





●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



5. 今後の長浜市の住まいづくりについて

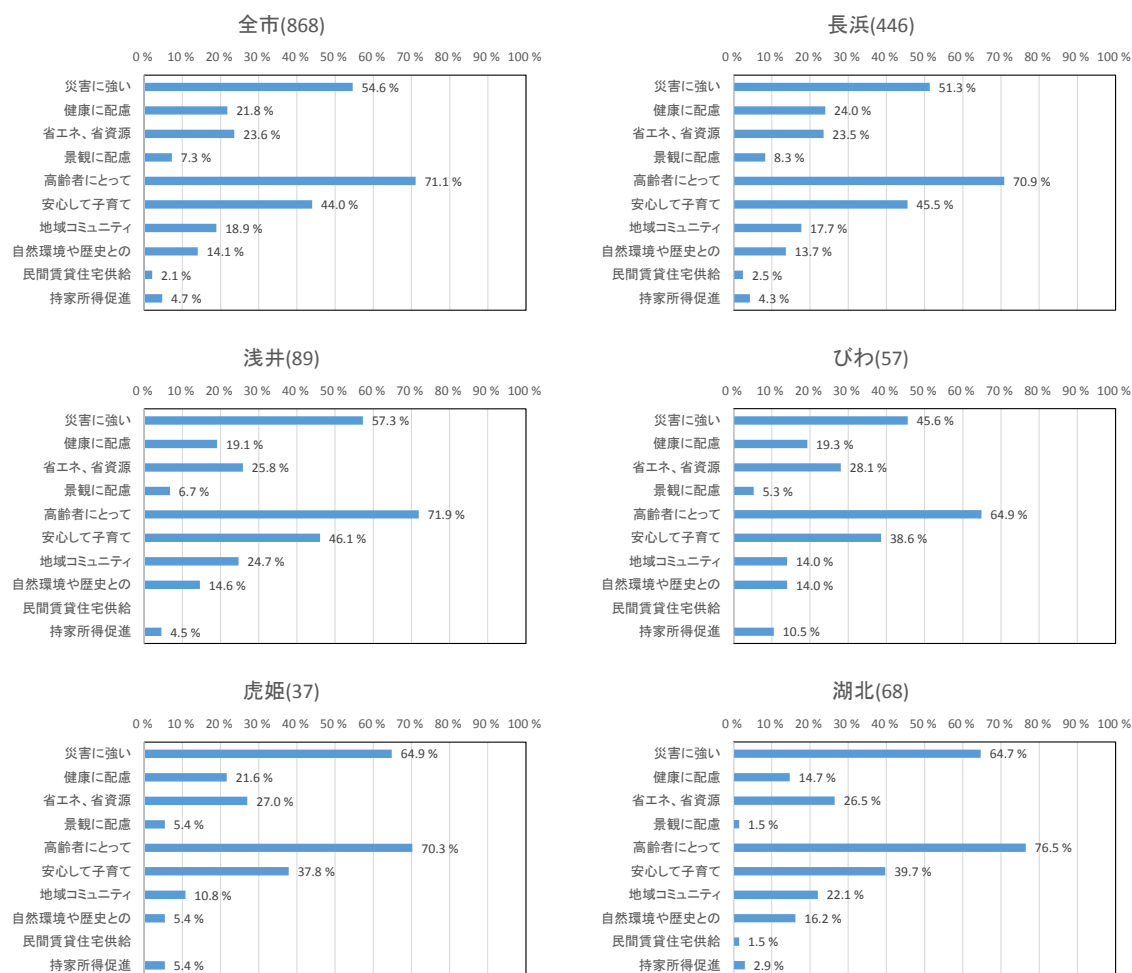
問 20 今後の住まいづくりで必要なこと（3 つまで）

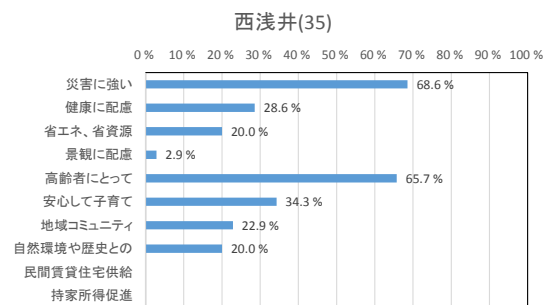
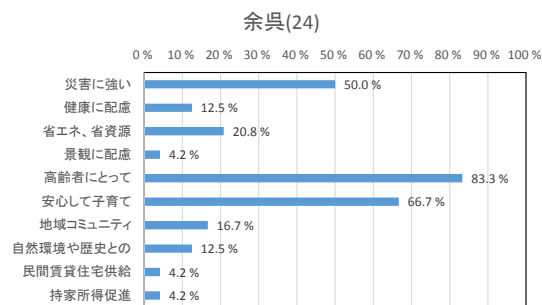
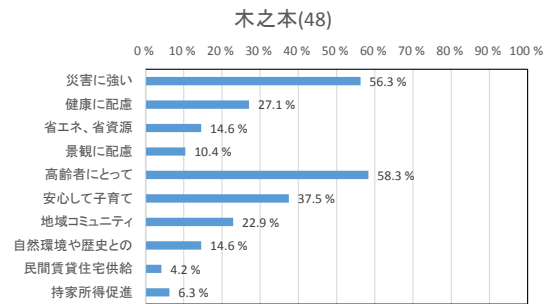
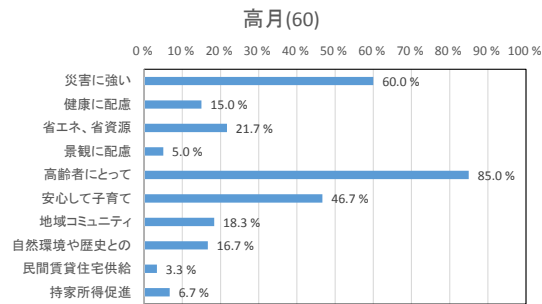
「高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり」が最も多く、「災害に強い住まいづくり」「安心して子育てできる住まいづくり」も比較的多くなっています。

地域別にみても、大半に地域で「高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり」、「災害に強い住まいづくり」が1位、2位となっています。西浅井地域では「災害に強い住まいづくり」が1位、余呉地域では「安心して子育てできる住まいづくり」が2位にあがっています。

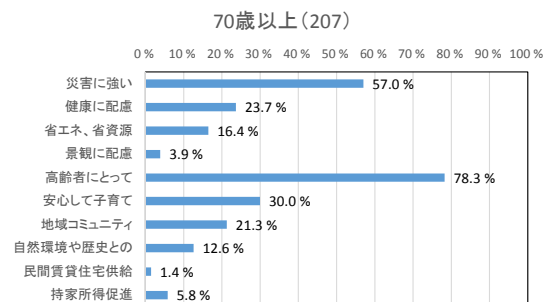
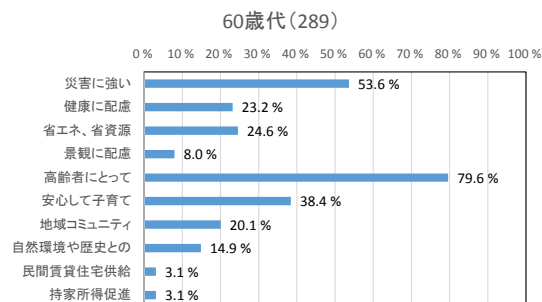
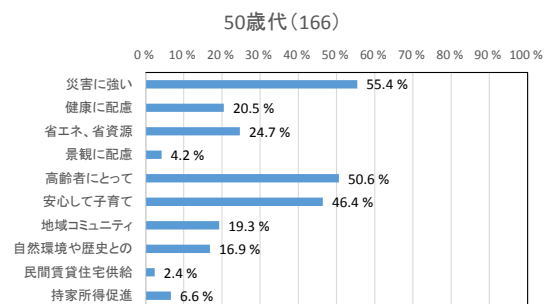
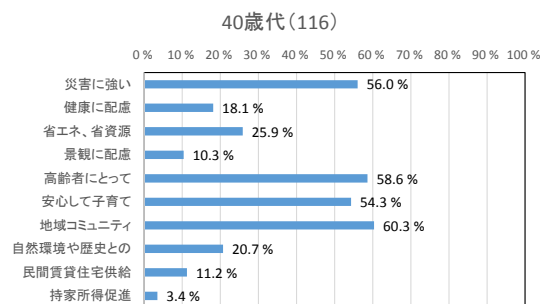
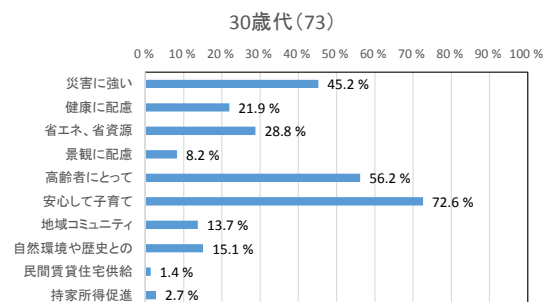
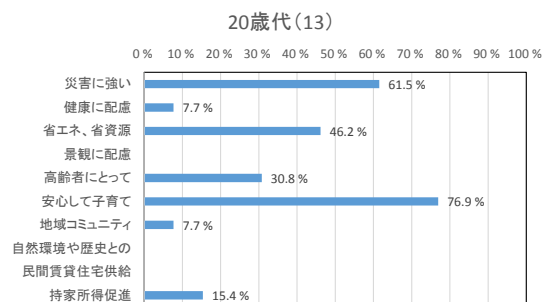
年代別にみると、若年層は「安心して子育てできる住まいづくり」、高齢層は「高齢者などが安心して暮らせる住まいづくり」を重視する傾向がみられます。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）





●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



5. 定住や転居などに対する意向について

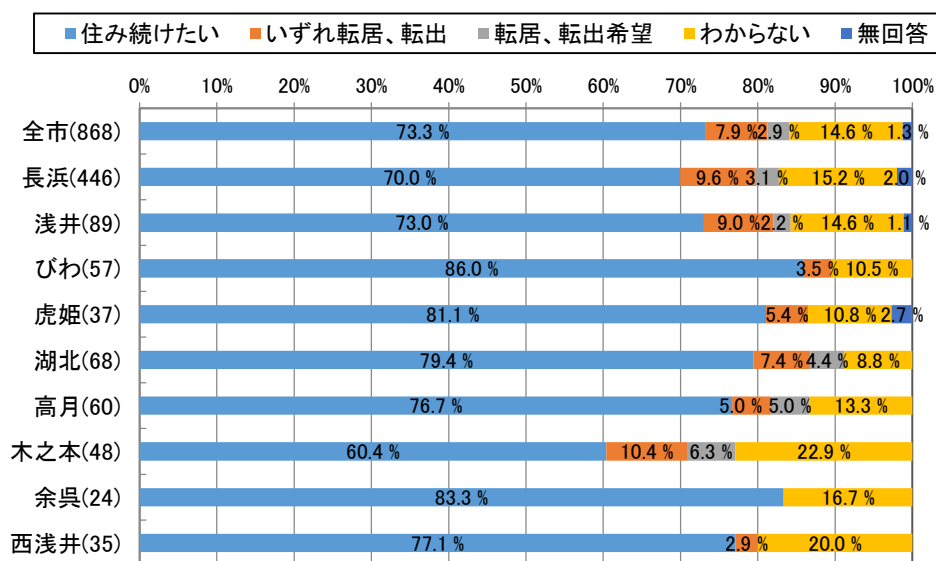
問 21 現在の住まいへの定住意向

「このまま住み続けたい」が7割を超えています。

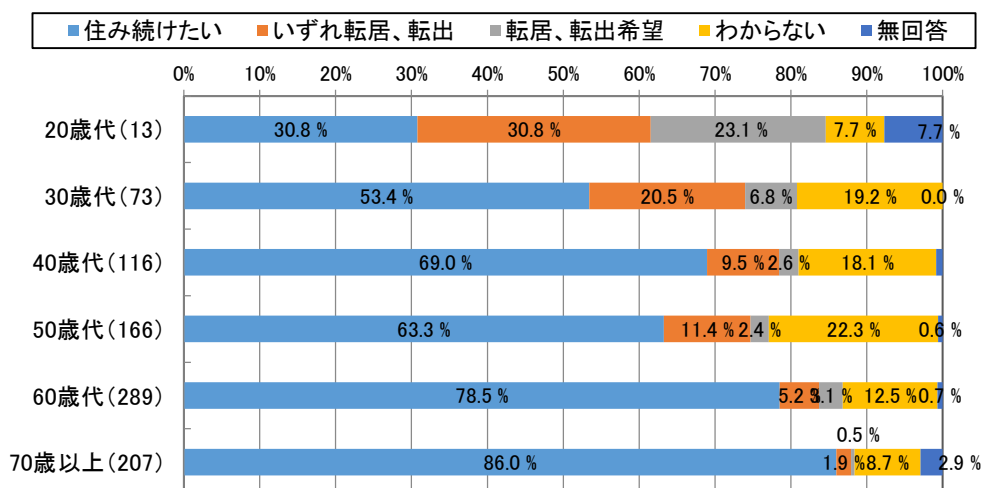
地域別では、木之本地域の定住意向がやや低めです。

年代別では、概ね年齢が上がるにつれて定住意向が高くなっています。若年層では、転出・転居意向が高く、特に20歳代は「いずれ転居、転出」のほか、「転居、転出したい」も多くなっています。50歳代は「わからない」などがやや多めです。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



問 22 転居・転出希望について

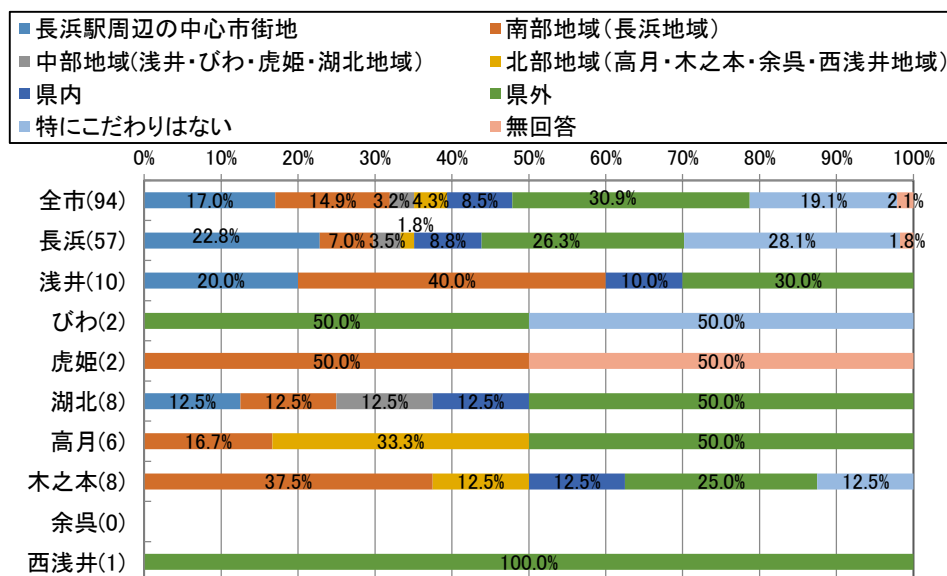
①転居、転出したい場合の希望転居先

全体としては、県外その他、「長浜駅周辺の中心市街地」「南部地域（長浜地域）」が多くなっています。

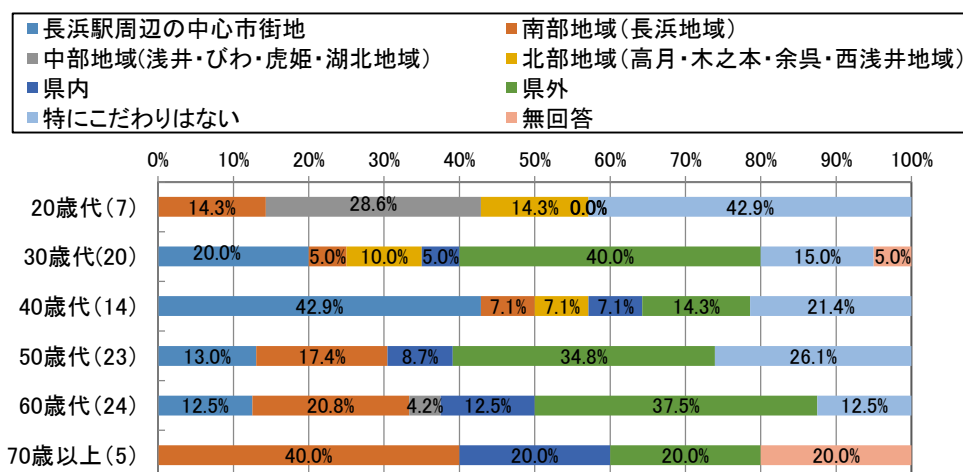
地域別では、湖北、高月地域で半数以上が県内、県外となっています。

年代別では、20歳代は「特にこだわりのない」、40歳代は「長浜駅周辺の中心市街地」、30歳代と50歳代、60歳代では県外が多くなっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



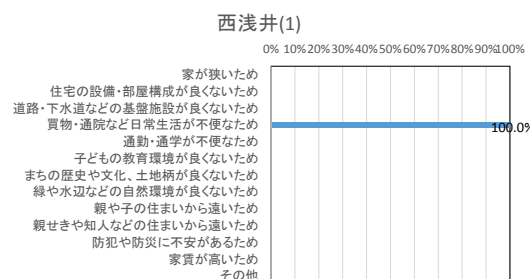
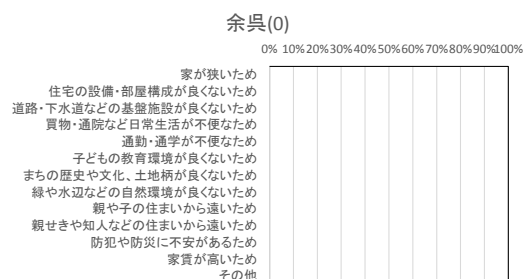
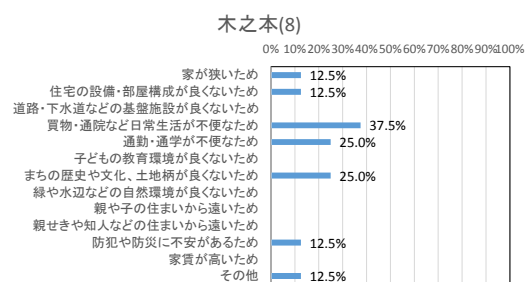
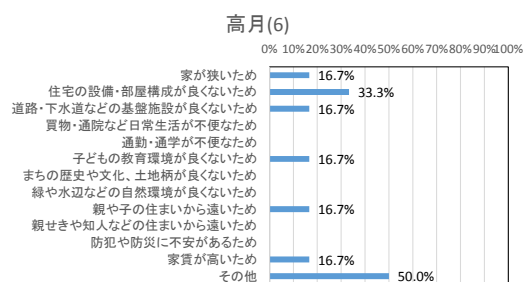
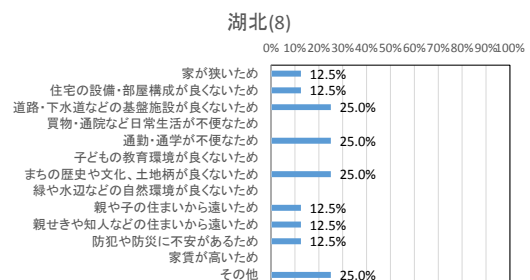
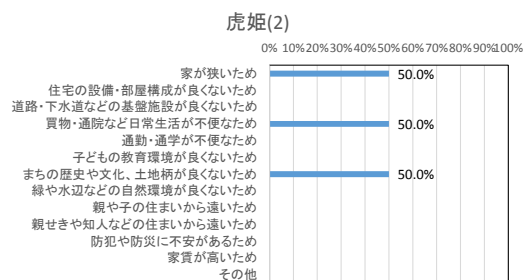
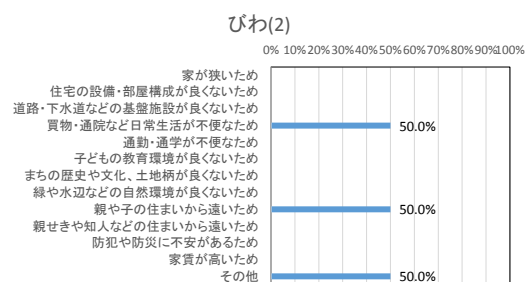
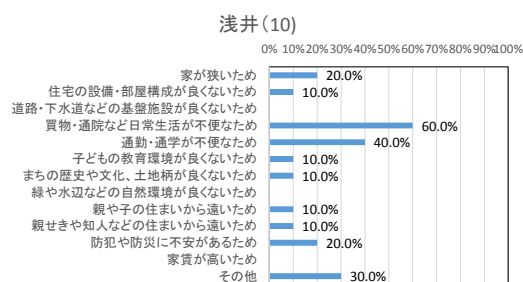
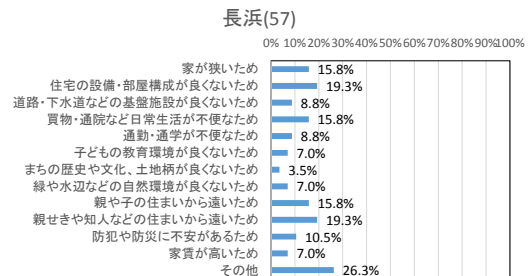
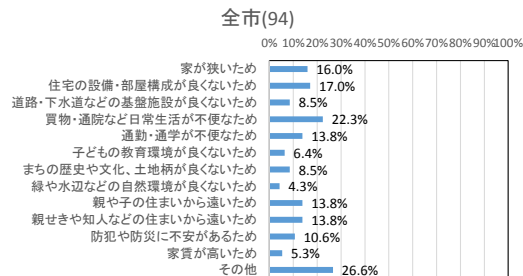
●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）



②転居、転出したい理由（3つまで）

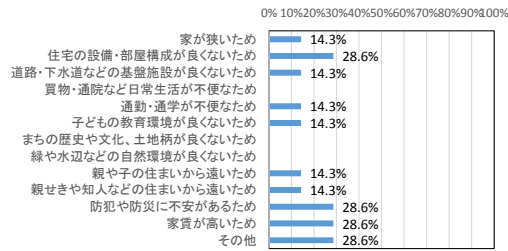
「買い物・通院など日常生活が不便なため」がやや多めですが、突出した回答はなく、多様な理由があげられています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）

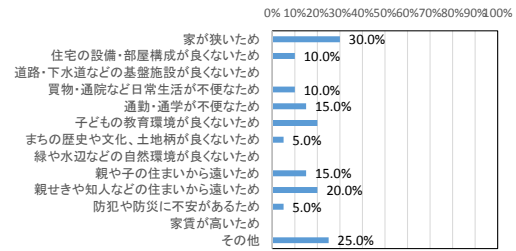


●年代別（年代名横の（ ）内数値は回答数）

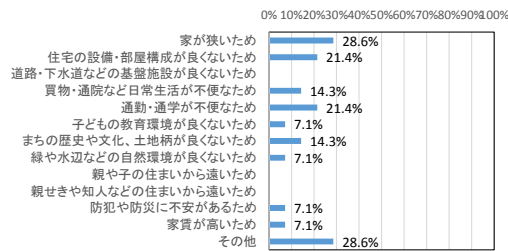
20歳代(7)



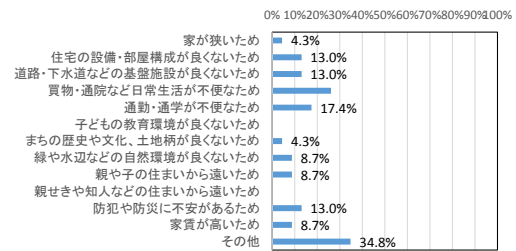
30歳代(20)



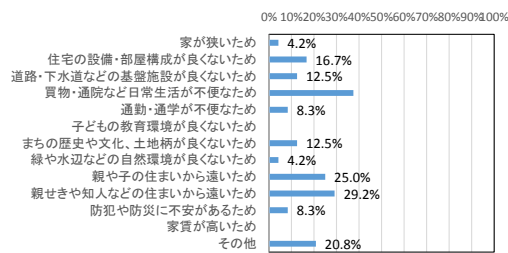
40歳代(14)



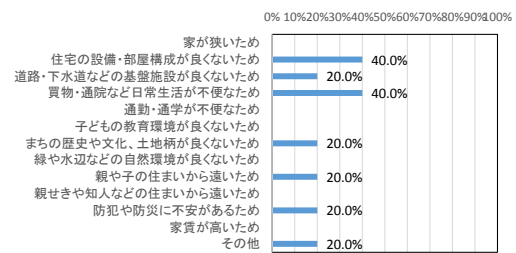
50歳代(23)



60歳代(24)



70歳以上(5)



問 23 転居・転入歴について

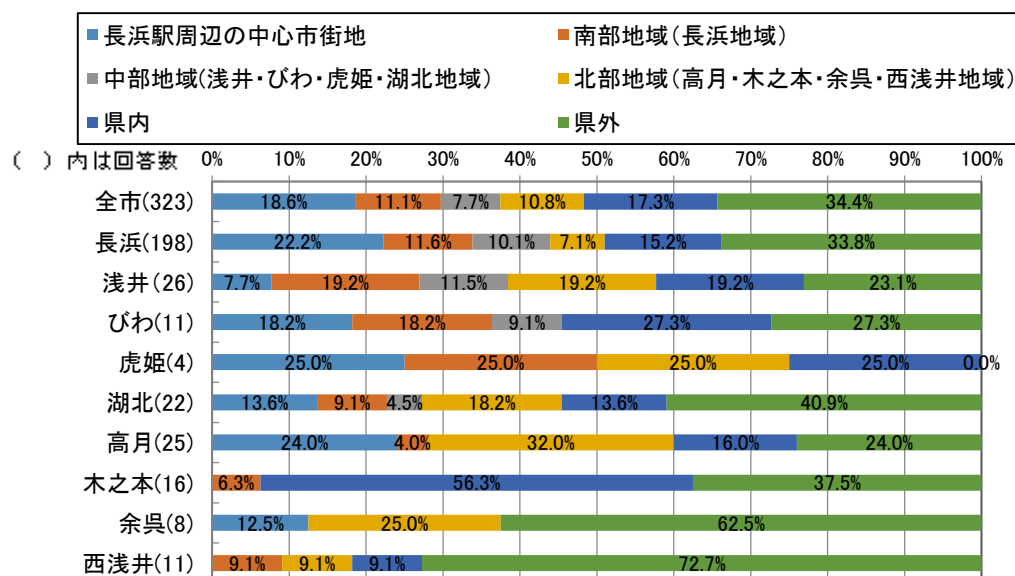
①転入・転居したことがある人の以前の住まい

全体の4割弱が転入・転居歴について回答しています。転入・転居歴への回答は長浜、高月地域で多く、びわ、虎姫地域では少なくなっています。

以前の住まいについては、県内、県外と市内がほぼ半々の状況です。

木之本地域は市外から、浅井地域は市内からが多くなっています。

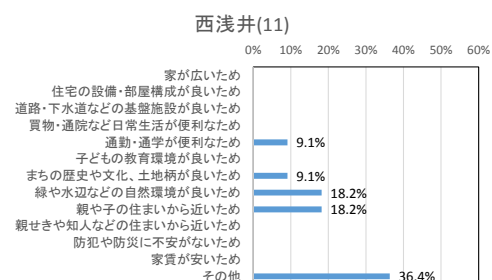
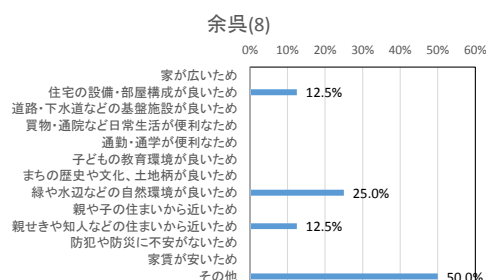
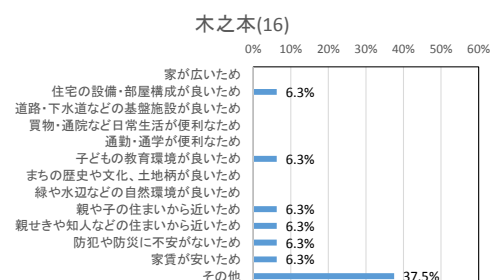
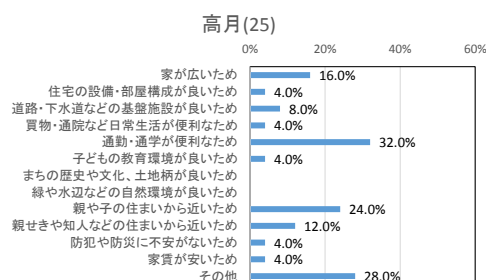
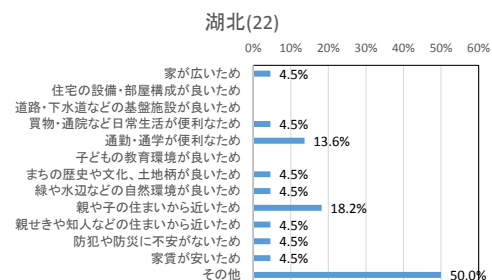
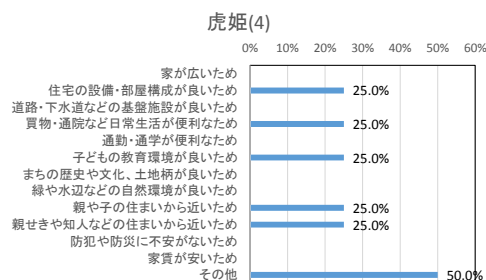
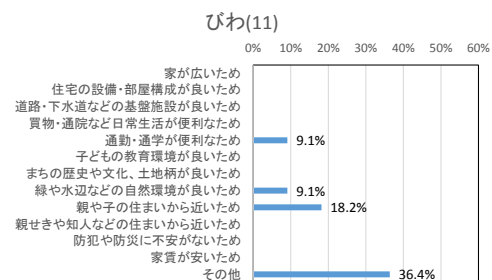
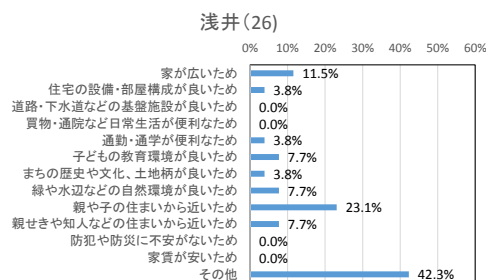
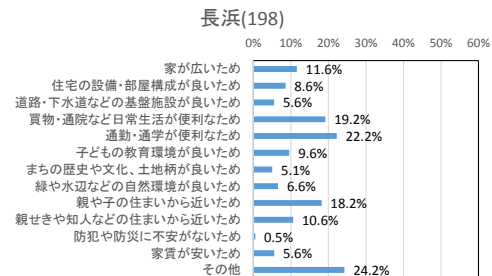
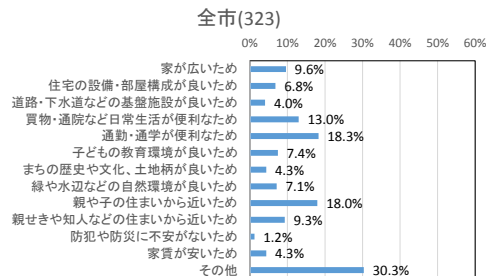
【当設問に回答した人の前住地】



②転居、転入の理由（3つまで）

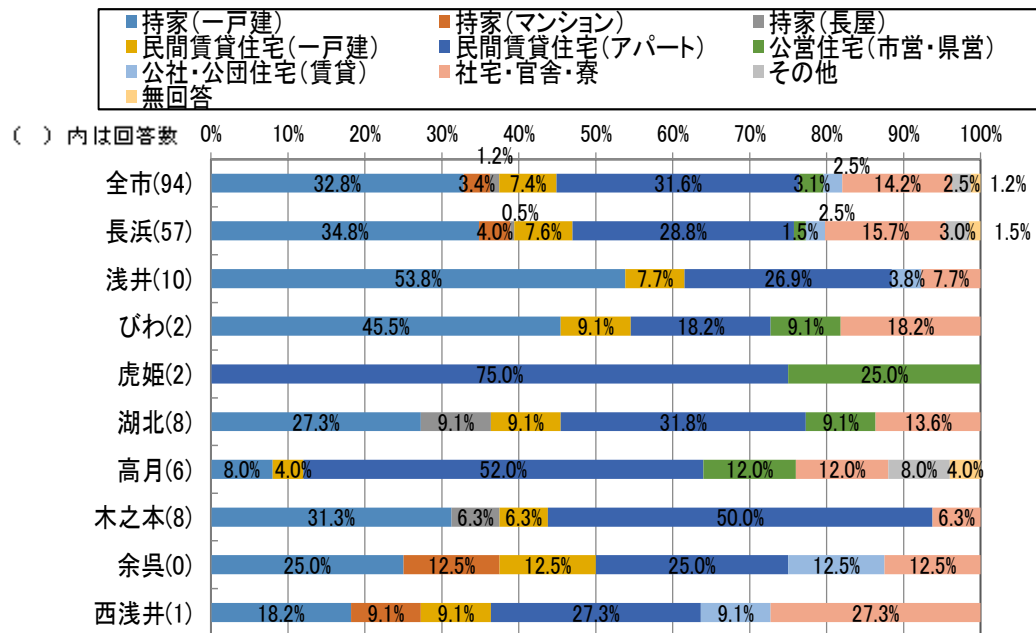
多様な理由があげられています。「その他」以外では「通勤・通学が便利のため」「親や子の住まいから近いため」が比較的多くなっています。

●全市・地域別（地域名横の（ ）内数値は回答数）



③以前の住宅の種類

「持ち家（一戸建て）」と「民間賃貸住宅（アパート）」がほぼ同程度で多く、「社宅・官舎・寮」なども一定みられます。



<市の全体像>

- ・他県からの受け入れをしやすい魅力あるまちづくり（２）
- ・若者の集まるまち、若い子どもたちが後を継いでくれるようなまちづくり（６）
- ・市域内で差が生じないまちづくり（３）

<市民が感じている現状>

- ・バスの本数が少ないなど交通の利便性が悪い（４）
- ・小・中学校が遠い（１）
- ・空き家が増えてきている（９）
- ・住宅が自由に建てられない地域がある（３）
- ・市街地の騒音がひどい（２）
- ・買い物施設が遠い（１）
- ・固定資産税（市税）が高い（７）
- ・同じ市内で異なる環境、地域性、交通体系、公共施設の整備状況など地域格差がある（４）
- ・高齢化が進んでいる（１３）
- ・防火水槽が少ない地域がある（１）
- ・農家の減少・担い手の確保が困難である（１）
- ・借家が少ない（１）
- ・家賃が高い（２）
- ・市営住宅が少ない（１）
- ・古い習慣を残していくことは大事だが、反面新規入居者が入り込めない地域がある（１）
- ・長浜駅周辺の観光地と生活環境が分かれすぎている（１）
- ・建築基準が厳しく、市民が望む住宅が建てられない（２）
- ・まちに魅力はあるのに住みたくない条件が多すぎる（１）
- ・地域全体に住み心地のいい雰囲気足りない（１）
- ・開発が小規模で計画性が見られない（１）

<住宅施策の方向性>

- ・地域の実情に応じた住まいづくり（１）
- ・全員持家に住めるような政策（１）
- ・田舎に住むような政策（１）
- ・石畳などの道路整備や古民家再生など文化景観に見合った住宅づくり（１）
- ・二世帯がゆとりをもって住める住まいづくり（１）
- ・高齢者が安心して住める住まいづくり（４）
- ・お金のかからない生活ができる住まいづくり（３）
- ・道路政策との連動（１）

<力を入れるべき住宅施策>

- 補助制度の確立および補助金の引上げ（バリアフリー化、耐震工事、再生エネルギーの活用、地域産材の活用、建物の新築・増改築、家賃補助など）（１２）
- 補助制度の周知徹底と手続きの簡素化（１）
- 若者が集まるような分譲施策（３）
- ２世代、３世代で住める住宅の促進（１）
- 湖北特有のコの字型木造建築の推進（１）
- 住宅用地を JR 沿線に確保すること（１）
- 長浜駅徒歩圏内の分譲地の増加（２）
- リフォームや内装改修を通じた住宅の長寿命化（１）
- 中古住宅取得の推進（１）
- ケア付きシェアハウスの整備（３）
- 老人ホームなど施設入居に係る順番待ちの解消（２）
- 独り身の高齢者、しょうがい者を対象とした安価な住宅の提供（１）
- 土地取得条件の緩和（１）
- 入居者自身による公営住宅の改修（１）
- 空き家の活用（介護施設、村の駅、老人同士の共同生活など）（７）
- 空き家リフォームと賃貸が連動したシステムの構築（１）
- 継続的な耐震診断の実施（１）
- 住宅ローンの低金利化（１）
- 農地から住宅地への転用禁止（１）

<力を入れるべき住環境施策>

- 人が住む目的を考えること（住宅支援が目的で住むわけではない）（１）
- 住みたくない条件を一つ一つクリアすること（１）
- 子育てしやすい環境づくり（子育て支援の充実）や労働環境の整備（２）
- 河川の清掃の徹底（１）
- 除雪作業の強化、融雪装置の設置、雪捨て場の確保などの雪寒対策の充実（７）
- 豊公園周辺の建物の外装の統一化（１）
- 介護サービスへの支援と援助資金の充実（１）
- 火災対策の充実（１）
- 地域コミュニティの充実（２）
- 医師の確保など地域医療の充実（２）
- 防犯などの整備や見守り活動など防犯対策の強化（４）
- 鳥獣害対策の強化（３）
- 農業継続見込みがない地域の用途変更など有効な土地の活用と規制緩和の推進（１）
- 規制緩和と各種補助制度の連動施策の展開（２）
- 都市計画区域の見直し（特に市街化調整区域）（１）
- 所有する土地環境や地目による、建築確認許可の緩和（１）
- 住宅地周りの公共施設の整備に対する配慮（見回りなど）（１）

- 高齢者に対する交通体系の整備（１）
- 空き家などの適正管理に係る行政指導（１）
- 大型店まで出かけなくてもいい買い物環境の整備（３）
- 正しい人が正しくいられる税制の施行（１）
- 適切な道路計画と静かに住める住環境の整備（１）
- Ｉターン活動の促進や企業誘致などによる雇用の促進（１）
- 住宅に関するサービス（建築、ライフラインの修理など）の情報提供（３）

＜市民アンケートについて＞

- アンケートから見えることは少ない（１）
- アンケート結果の公表（１）

資料編Ⅳ 策定の経緯及び委員会など

Ⅳ－１ 策定の経緯

本計画の策定にかかる主な経緯は、以下のとおりです。

日程	実施項目・内容
平成 25 年 11 月 19 日	第 1 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 ワーキングチームで協議する目的について 住生活基本法と住生活基本計画について 策定までのスケジュールについて
平成 25 年 12 月 18 日	第 2 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 住宅施策の課題について 長浜市住生活基本計画の体系について
平成 26 年 2 月 7 日	第 3 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 長浜市住生活基本計画の体系について 今後のスケジュールについて 市民アンケート調査について
平成 26 年 4 月 24 日	第 4 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 平成 26 年度建築住宅課すまい政策推進室の仕事について 長浜市住生活基本計画について
平成 26 年 5 月 22 日 ～6 月 5 日	市民アンケート調査の実施
平成 26 年 6 月 24 日	第 1 回長浜市住生活基本計画策定委員会 〔内容〕 長浜市住生活基本計画（たたき台）について 市民アンケート調査の単純集計結果について
平成 26 年 7 月 2 日	第 5 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 長浜市住生活基本計画（たたき台）について 市民アンケート調査の単純集計結果について
平成 26 年 7 月 22 日	第 2 回長浜市住生活基本計画策定委員会 〔内容〕 長浜市住生活基本計画（素案）について
平成 26 年 7 月 30 日	第 6 回長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム会議 〔内容〕 長浜市住生活基本計画（素案）について
平成 26 年 8 月 29 日	第 3 回長浜市住生活基本計画策定委員会 〔内容〕 長浜市住生活基本計画（素案）について
平成 26 年 10 月 10 日 ～11 月 11 日	パブリックコメントの実施
平成 26 年 12 月	長浜市住生活基本計画策定

Ⅳ－２ 委員会など

（１）長浜市住生活基本計画策定委員会

＜長浜市住生活基本計画策定委員会委員名簿＞

（敬称略・順不同）

構 成	氏 名	所属など
1号委員 （学識経験者）	谷口 浩志	びわこ学院大学短期大学部 ライフデザイン学科長 長浜市営住宅マスタープラン策定懇話会委員
2号委員 （関係団体）	冬木 克彦	公益社団法人滋賀県宅地建物取引業協会 業務推進委員会委員長（常務理事） 長浜市営住宅マスタープラン策定懇話会委員
	脇坂 芳克	長浜市連合自治会理事 第5連合自治会長 南日吉自治会長
3号委員 （バンク登録）	増渕 亜見	女性人材バンク「かがやきネット」登録者
4号委員 （市長関係）	大村 悟子	滋賀県建築士会女性委員会副委員長 湖北委員会副委員長 一級建築士、一級建築士（設備設計）、管理建築士、 インテリアコーディネーター
	早川紀久子	長浜市民生委員児童委員協議会理事会副会長 長浜市市営住宅運営委員会委員 長浜市営住宅マスタープラン策定懇話会委員

(2) 長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチーム

＜長浜市住生活基本計画策定庁内ワーキングチームメンバー名簿＞

(敬称略・順不同)

	部課名	職 名	氏 名 () 内はH25年度
メンバー	財政課	主 幹	河瀬 恵子
メンバー	防災危機管理課	主 幹	二村 めぐみ(布施 智)
メンバー	企画政策課	副参事	山口 博之
メンバー	市民協働推進課	主 査	大音 孝次
メンバー	環境保全課	主 幹	草野 誠(富岡 誠)
メンバー	長浜駅周辺まちなか活性化室	主 幹	小谷 勝也
メンバー	森林整備課	主 査	前川 正浩
メンバー	社会福祉課	主 査	山田 均
メンバー	北部振興局 地域振興課	主 査	小川 敦
メンバー	都市計画課	主 幹	隼瀬 大典(北川 義洋)
メンバー	道路河川課	主 査	田中 信也
メンバー	上下水道課	主 幹	岩崎 淳二
メンバー	開発建築指導課	副参事	服部 稔
事務局	建築住宅課	課 長	松居 治樹(清水 善信)
事務局		副参事	丸岡 智(大塚 重之)
事務局		主 査	横井 良明
事務局		主 査	菅谷 和宏
事務局		主 査	主馬 央統

《ア行》 【アスベスト】

繊維状の鉱物で、耐久性、耐熱性、耐薬品性、電気絶縁性などに優れ安価であったため、建設資材などの様々な用途に広く使用されてきたが、空中に飛散した石綿繊維を長時間大量に吸入することによる健康被害について指摘されるようになり、現在では使用が原則禁止されている。

【NPO（エヌ・ピー・オー）】

民間非営利組織を示す Non-Profit-Organization の略。環境・福祉・国際交流などに関する目的で広範囲にわたり様々な活動を行っている不特定多数の組織。

【温室効果ガス】

大気圏にあって、地表から放射された赤外線の一部を吸収することにより、温室効果をもたらす気体の総称。対流圏オゾン、二酸化炭素、メタンなどが該当する。近年、大気中の濃度を増しているものもあり、地球温暖化の主な原因とされている。

《カ行》 【管渠】

開渠（上部にふたのない水路）と暗渠（覆いをしたり地下に設けたりして、外から見えなくなっている水路）の総称。

【協働】

市民、事業者、市などの多様な主体が、その役割分担に基づき、相互補完的に対等な立場で協力して行動していくこと。

【近隣景観形成協定】

「ふるさと滋賀の風景を守り育てる条例（風景条例）」に基づき、自治会や町内会などにおいて、建物の形や色彩の調和、緑化など景観形成に関する事項について、お互いに取り決め（協定）を結ぶもの。

【グループホーム】

しょうがいのある人や認知症高齢者などを少人数のグループで住ませ、家庭的な共同生活を営むことにより、生活の再構成を目指す介護形態、またはそのための施設。

【限界集落】

過疎化などで人口の50%以上が65歳以上の高齢者になって、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になっている集落を指す。

【コミュニティバス】

地域共同体や地方自治体が住民の移動手段を確保するために運行するバス。

【古民家】

建造されてから時を経た民家。どの時代に建てられたものか、あるいは建造され何年を経たものを指すかの定義はないが、通常は戦前以前のもの、特に大正以前のものを指す場合が多い。また、その建築方式が釘などを使わない伝統的日本建築で建てられた建物を特定することが多い。

《サ行》 【再生可能エネルギー】

国際的に統一された定義はないが、国際エネルギー機関（IEA）は、「絶えず補充される自然のプロセスに由来するエネルギー」として定義している。太陽光、太陽熱、風力、バイオマス、地熱、水力などがあげられる。

【最低居住面積水準】

国が住生活基本計画（全国計画）で定めているもので、世帯人員に応じて、健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な住宅の面積に関する水準。単身者で 25 m²、2 人以上の世帯で 10 m²×世帯人数+10 m²。

【自主防災組織】

災害対策基本法第5条第2項において規定されている、「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う組織である。

【住宅セーフティネット】

市場機能のみでは住宅の確保が困難な人々に対し、柔軟かつ公平に賃貸住宅や住宅資金を提供する仕組みや制度。

【重要文化的景観】

景観法に基づく景観計画区域または景観地区内にあって、都道府県または市町村が保存措置を講じている「文化的景観」のうち、特に重要なものとして文化財保護法第 134 条第 1 項の規定に基づき国（文部科学大臣）が選定した景観。

なお、「文化的景観」とは地域における人々の生活又は生業及び当該風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のために欠くことのできないもののこと。

【新耐震基準】

建築基準法に規定されている耐震設計基準のこと。1978 年の宮城県沖地震を契機として設計基準の見直しが行われ、1981 年 6 月から適用された。震度 5 程度の中地震に対しては構造体への軽微な損傷にとどめ、震度 6 程度の大地震では倒壊を防ぐことを目標としている。

【ストック】

住宅の場合には、ある一時期において存在するすべての住宅の数を指す。

対になる用語としては「フロー」があり、これは一定期間に供給される住宅の量を指す。

《タ行》 【地域コミュニティ】

地域住民が生活している場所、住民相互の交流が行われている地域社会、あるいはそのような住民の集団。

【地域づくり協議会】

「地域課題の解決」や「地域が必要とする公共サービスの提供」を地域と行政が相談し、役割分担を決め、地域が中心となって実行していく組織。長浜市では、市内 24 地区すべてにおいて、地域づくり協議会が設立されている。

【地域支援職員】

地域づくり協議会の事務手続きや企画・立案に対する助言や市と協議会の連携強化を図るとともに、地域の現状把握や地域づくりについて理解を深め、今後の市民協働に向けての視点を養うため、各地域づくり協議会から派遣の要請があった場合に市が協議会に配置する職員をいう。

【地域包括ケアシステム】

地域住民に対し、保健サービス（健康づくり）、医療サービス及び在宅ケア、リハビリテーションなどの介護を含む福祉サービスを、関係者が連携、協力して、地域住民のニーズに応じて一体的、体系的に提供する仕組みのこと。

【地産地消】

地域生産・地域消費の略。地域で生産された生産物を地域で消費しようとする活動を通じて、生産者と消費者を結びつける取組のこと。

【長期優良住宅】

長期にわたり良好な状態で使用するための措置が講じられた優良な住宅。長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく、一定の基準を満たした認定長期優良住宅は、税制面での優遇などを受けられる。

【デマンド型乗合タクシー】

一般乗合旅客自動車運送事業者が、市との契約に基づき、道路運送法第3条第1号イ及び第4条の規定による国土交通大臣の許可を受けて有償により旅客を運送する事業をいう。

【特定優良賃貸住宅】

特定優良賃貸住宅の供給に関する法律に基づき、地方公共団体が認定する中堅所得者向けの良質な賃貸住宅。民間の土地所有者などによる賃貸住宅の供給について、建設助成、家賃減額助成などが行われる。

《ナ行》 【二重サッシ】

外窓と内窓が二重（または三重）構造となった窓（内窓が障子の場合を含めない）で、気密性を高めたもの。防音・保温・防寒などの効果がある。

《ハ行》 【パブリックコメント】

公的な機関が規則あるいは命令などを制定しようとするときに、広く公に意見・情報・改善案などを求める手続き。

【バリアフリー】

生活環境においてしょうがいのある人にとって障壁のない状態。段差がない、エレベータが設置されている、車いすの通行に支障がないなど物的環境整備の条件を表す概念として用いることが多い。

【複層ガラス】

複数枚のガラスを組み合わせ、隙間に空気層を作ることによって断熱効果を持たせたガラス。

《マ行》 【木質バイオマス】

「バイオマス」とは、生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のこと。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼ぶ。

《ヤ行》 【ユニバーサルデザイン】

しょうがい者・高齢者・健常者の区別なしに、すべての人が使いやすいように製品・建物・環境などをデザインすること。1974年、アメリカのロナルド・メース氏によって提唱された概念。

《ラ行》 【リフォーム】

住宅改善のこと。主に局所的な増改築や内装、設備を新しく性能の良いものに取り替えることをいう。

長浜市住生活基本計画

平成 26 年 12 月

長浜市都市建設部建築住宅課

〒526-0031 滋賀県長浜市八幡東町 632 番地

TEL : 0749-65-6533 FAX : 0749-65-6760

<http://www.city.nagahama.shiga.jp/>